

かわなみ

ただかす
《中央区》

“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします!



令和5年2月17日(金)本会議にて

今号の
報告

- JR元町のバリアフリー化について
- Living Nature Kobeの展開 ● ジャズの街KOBEの推進
- 学校給食の食材調達 ● 商店街等への電子商品券発行の働きかけ



かわなみ質疑



JR 元町のバリアフリー化について

2024年に神戸で開催される、世界パラ陸上競技選手権大会を契機に、JR元町駅にバリアフリー化が進み、高齢者や障がい者、子育て世代が出かけやすいまちづくりを、より一層推進していくことを期待しています。



JR への働きかけ強化について

従前より要望しているJR元町駅、JR垂水駅のバリアフリー化については、依然として整備が進んでおりません。鉄道事業者が実施主体ではありますが、少しでも早い整備の実現に向け、国・県・市の財政支援をより一層拡充しながら、本市としてもこれまで以上にJRに強く働きかける必要があると考えますが、見解をお伺いいたします。

市 小原副市長からの回答

- 神戸市においては、高齢者、障害者の社会参加促進のため、国や県に先駆けて1992年度から補助金制度を設けて支援を実施してきたところです。今年度末には長年の悲願としていた、市内で1日平均乗降客数3,000人以上以上の駅については、全てバリアフリー化を完了する予定となっています。
- JR元町駅については、西口のエレベーターにより、1経路は確保されているものの、乗降客数が多い東口にエレベーターがないことから、これまでも神戸市からJR西日本へ重点的に、2件目の整備に関する要望を行ってきたところです。
- JR西日本からは、詳細は未定であります。東口のエレベーター設置については、鉄道駅バリアフリー料金制度(※)を活用して、2027年度末までには実施する予定とお聞きしています。
- 地域住民からの要望の多い駅を重点要望駅と位置づけ、鉄道事業者に対し、引き続き粘り強く働きかけを行ってまいります。

鉄道駅バリアフリー料金制度(※)

2021年(令和3年)12月に創設された国の制度。都市部を対象に、利用者の薄く広い負担を得て、鉄道駅のバリアフリー化を進めることを目的として設けられました。

わかりやすく言い換えると、鉄道会社は、得た利益をバリアフリー化に限定して使うなら、運賃に上乗せ(想定10円以下程度)することが出来る、ということです。

この制度を使うかどうかは、各鉄道会社が決めて表明します。

かわなみ
MEMO



さらに!

JR元町駅のバリアフリー化については、2月17日の代表質疑に続いて、3月1日の予算特別委員会でも福祉局へ質疑しました ※以下、質疑抜粋・要約

JR 元町駅東改札口のバリアフリー化は喫緊の課題では?

JR元町駅は、1日の乗降客数が約5万7000人と神戸市内でも7番目に多い駅であり、東側改札口がそのメインです。鉄道事業者任せでなく、神戸市として財政支援を含めバリアフリー化を推し進めるべきと考えますが、見解は?

市 森下福祉局長からの回答

鉄道駅バリアフリー料金制度(※)により様々な財政支援がどうなるかというところだが、国においては、この制度を導入した事業者に対しては、ホーム柵、エレベーター等のバリアフリーともに補助の対象外、JR元町駅東口に関して県・市の財政補助の対象になっていない状況にある。ただ、福祉局としてはバリアフリーは非常に大切、バリアフリーは都市の品格だと思うので、JR元町駅については重点要望駅と位置づけ、実現するよう働きかけはしていきたい。

JR元町駅を
最重点要望駅として

JRさんに
強く働きかけを1と
神戸市に要望しました

かわなみ 要望



兵庫県はJR元町駅西口からバリアフリー動線を含めた県庁舎等再整備基本計画の検討を進めてきましたが、建設費の高騰等を踏まえ、事業を一旦凍結されております。

このことが元町駅のバリアフリー化が前進しない一つの理由だと私は考えております。

昨年12月20日に開催された兵庫県・神戸市調整会議において、神戸市会の安井議長より、JR元町駅を中心とした再開発のスケジュールや考え方についての質問に対して、齋藤知事からは、元町駅のバリアフリー化を含め、早急にスピード感を上げて、場合によっては、県庁舎等再整備基本計画との議論を切り分けて進めていきたいとの御発言があったとお聞きをしております。

ぜひスピードアップで取り組んでいただきたいと思います。



令和5年3月1日(水)予算特別委員会にて



令和5年2月17日(金)本会議にて

暮らしに心の豊かさを

Living Nature Kobe の展開について

かわなみ質疑

Living Nature Kobeとは…

都市生活のなかで、人々が自然に意識を向け、植栽と関わり合いをもつような「自然の景」を都心に創出することで、人と都市と自然と共に生きる神戸を目指す取組み。

かわなみ MEMO

現在、都心・三宮において実証実験が行われていますが、今後どのようにプランディングを行い、高質な空間整備を展開されるのでしょうか？

市 油井副市長からの回答

●ロゴマークなどでデザインを統一するとともに、進捗状況をSNS、またウェブサイトを活用して、市内外、国外に積極的に発信していきたい。今後も、都心・三宮や主要駅の再整備に合わせて、自然の景を感じる高質な空間を整備し、神戸のまちの魅力を高めていきたい。

●公共空間だけでなく、例えば民地にもつくっていただくような取組みもしていき、神戸の街が、自然と共に暮らし、癒やしを感じられるような街にしていきたい。

かわなみの



情報過多で、スピードが求められがちな現代社会で、疲れてしまった人々の本質を取り戻すには、癒やしの庭、ヒーリングガーデンを私は期待しておりますので、すばらしいものを提案いただきたいと思います。

ジャズの街 神戸 の推進について

かわなみ質疑

100周年の節目で行うイベントに関して
JAZZ ミュージシャンの派遣について提案しました！

●学校への派遣は、ピエロのような、こどもが笑ってジャズを楽しめるような取組みも出来ないか？

●音楽を聞くとリラックスできる、活力が出てくるなど、様々な効果があり、脳を刺激して、認知症の予防になる可能性も期待されている。老人福祉施設等への派遣は？

市 油井副市長からの回答

●中学校、高校の文化祭等にて、ライブ演奏を開催することで、学生の方にジャズの魅力を感じていただいて、次世代の観客及び演奏家の開拓につなげていければと考えているところ。

●老人福祉施設等への派遣については、神戸芸術文化会議と神戸市の共催という形で、既にプロの方を派遣して対応しているところもあるが、ジャズについても引き続き相談してまいりたい。

かわなみの



音楽だけでもリラックスできたり、心地よい刺激を受けたり出来る良いと思いますが、他に何か、面白い、笑顔に、楽しくなるような仕掛けがあれば、さらに素晴らしいと思います。

地域商業の活性化を

電子商品券の発行を 商店街等へ働きかけを

かわなみ質疑

2月補正予算で発表された、商店街、小売市場が自ら実施する商品券の発行等事業に対する補助については、Ko-Payのような電子商品券ではなく、紙による商品券の発行も可能と聞いています。時代の流れからも、よりキャッシュレスなどの電子化が促進されるよう、電子商品券の発行を商店街等に働きかけていくべきではないか？

市 今西副市長からの回答

●令和4年度発行の Ko-Pay の参加店舗数は、5,500 店以上にのぼり、商店街、小売市場お買物券を上回る約 13 万人の方から購入申込みがあり、好意的な評価を頂いている一方で、事業者、利用者共、比較的高齢である小売市場などでは、参加が困難と言われた店舗もあった。

●今回、補正で提案の商品券事業は、各商店街、小売市場が実施する商品券の発行、ポイントシール事業に係る経費を補助するもので、電子商品券が紙商品券か、あるいは商品券ではなくポイントシールなど、他の形式なのは、商店街、小売市場単位で、それぞれの実情に応じて決めていただくことになる。

●しかし、今回の Ko-Pay の実施状況から、引き続きデジタル技術を活用して、地域経済の活性化を図っていくことが必要であると考えて、神戸市としては、できる限り電子形式による実施の方向に誘導してまいりたい。

かわなみの



コロナ禍で大きく変わったのが、やっぱり現金決済から電子決済への流れだと私は思うんですね。(電子商品券 Ko-Pay で)、高齢の方でも1円単位で使えるのはいいね！という声も聞いています。キャッシュレス化は今後の社会の流れとして必要だと思いますので、商店街や小売市場の店舗への働きかけも強く要望いたします。

神戸の中小企業を大切に

学校給食の食材調達 について

かわなみ質疑

現在、学校給食の食材調達は事業者登録制
対応が可能な登録事業者間の入札で決定される

※登録者は神戸市内に本店、または営業所を有することが原則

かわなみ MEMO

※学校給食では大量の食材を安価に、かつ安定的に調達する必要があるため、確実に配送ができ、数量不足や交換等で緊急を要する場合にも、おおむね1時間以内に対応できる場合においては市外の事業者であっても例外的に登録が認められる

令和3年度取扱い金額で、市内事業者の割合が(支店等が神戸市内にある事業者を含め)約9割になると聞いていますが、今後も市内事業者が受注しやすくなるような取組みは行うべきでは？(例：価格だけでなく、市内事業者であることの加算考慮など)

市 長田教育長からの回答

●入札そのものは、価格以外の提案を求めるプロポーザルには、なかなかなじみにくいのではないかと考えるが、例えば、特定の食材について、市内事業者による指名競争入札を行うなど、検討していきたい。

●登録業者公募の際に、ホームページや広報紙 K O B E への掲載に加え、業界紙にも掲載するなど、周知方法についても工夫を図るなど、今後も市内事業者の受注機会の拡大に努めてまいりたい。

かわなみの



実際の雇用が神戸で生まれるかどうか、実際の雇用で本店を持って、神戸の中で納税されている事業者と区別があって、私はいいのかなと思っております。神戸市内、市域内の景気の循環をつくるためにも、配慮いただきたいと思います。



任期最後の予算議会で、 市民の安全安心に関わる 質問をしました。



◀ 3月3日
予算特別委員会にて

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。神戸市会の山口由美です。
ようやく春を感じる日々となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
私はまもなく4期目の任期を終えようとしていますが、今も変わらず目の
前のことに一生懸命取り組んでおります。いただいたご要望にお応えでき
なかったり、問題の解決につながらなかったりすることもあります。これ
からもできる限りお力になれるように努力したいと思います。引き続きのご
指導をよろしくお願いいたします。

新型コロナワクチン接種コールセンター ☎078-277-3320 受付時間：平日(月～金)8:30～20:00
休日(土日祝)8:30～17:30



神戸市会議員
作成者 **山口 由美**

西区選出4期目

ご意見・
ご感想は...

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com



Topics 1

山口由美の市政への提案

1 火災の被害軽減について



1月に起こった兵庫区での共同住宅火災では、身体の不自由な人も犠牲となりました。**連動型住宅用火災警報器**を必要とする人にもっと普及させてほしいです。



▲連動型住宅用火災警報器

障がい者手帳などをお持ちの方

障がいによって火災警報器の購入費が給付される場合があります。問合せ：西区役所の保健福祉課「日常生活用具費」担当者。FAXでも相談可(078-990-2521)



詳しくはこちら➡

宅建業界と連携して普及啓発に取り組みます。



消防局長

2 防犯カメラの設置場所について



来年度、**神戸市カメラ**を増設されるようですが、神戸市内の特別支援学校の通学路に優先して設置していただきたいです。



市内特別支援学校の自力通学者

	市立	県立
児童生徒数の約25%	6校 298名	5校 287名

▲神戸市カメラ

教育委員会や学校、警察と相談して、設置を検討します。



危機管理監

神戸市カメラ

※設置場所は防犯上非公開ですが、自治会役員の方への情報提供を行っています。

R2~3年度

小学校半径500m圏内の通学路や主要駅付近

市内約2000台設置

R4年度

運用
警察への情報提供2136件
(設置~R4年12月末まで)

R5年度

小学校半径500m圏外の通学路・交差点など

市内約500台設置

地域の防犯カメラ

R3年度まで

設置補助の実績
2874カ所

R5年度

NEW

更新補助 上限 11万円/カ所

修繕補助 上限 5万円/カ所

※新設については1台目上限14万円/カ所(自立柱設置17万円)、2台目以降は8万円(11万円)となります。

R5年度の申請開始時期は4月中の予定。決定後にこちらに掲載されます



Topics 2

来年度、障がいのある子への支援が充実します!

1 難聴児支援の拡充

難聴学級の通学支援

R5年 4月~



◀ 神戸祇園小学校(兵庫区)内の市内唯一の難聴学級の様子



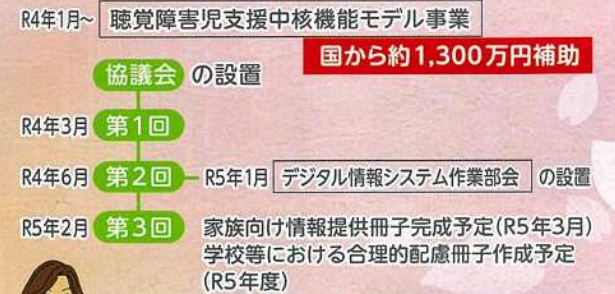
現状の制度は
➡こちら



山口

難聴学級へ通う時に付き添われる「通学ボランティア」の交通費を給付する制度が来年度できます。 ※特別支援学校対象の制度拡充

情報のデジタル化・共有システム検討開始



山口

来年度も国からの支援を受け取り組みを進めます。

2 発達が気になる子・障がいなどで支援が必要な子の支援体制強化

(仮称)こべっこ発達専門チームの新設

R5年 10月~



新たに

発達専門チーム 医師・保健師・心理士 ケースワーカー

役割

- 直接相談
- 簡易検査
- 乳幼児健診の2次健診

現状

西区役所・保健福祉課 078-940-9501(代) 保健師対応

こども家庭センター 078-599-7300(直) 児童福祉司対応

必要に応じて

療育センター
こども家庭センター

療育センターの待機期間の短縮などを目的に、試験的に西区と垂水区の方を対象に発達する予定です。詳細が決まりましたら、またお知らせいたします。



山口

就学説明会の開催



山口

就学に不安のある方はぜひご参加ください。

日時場所
問い合わせ

R5年4月18日(火)
10:30~12:00/神戸市総合教育センターにて

特別支援教育相談センター

☎ 078-360-2160



詳しくはこちら➡

Topics

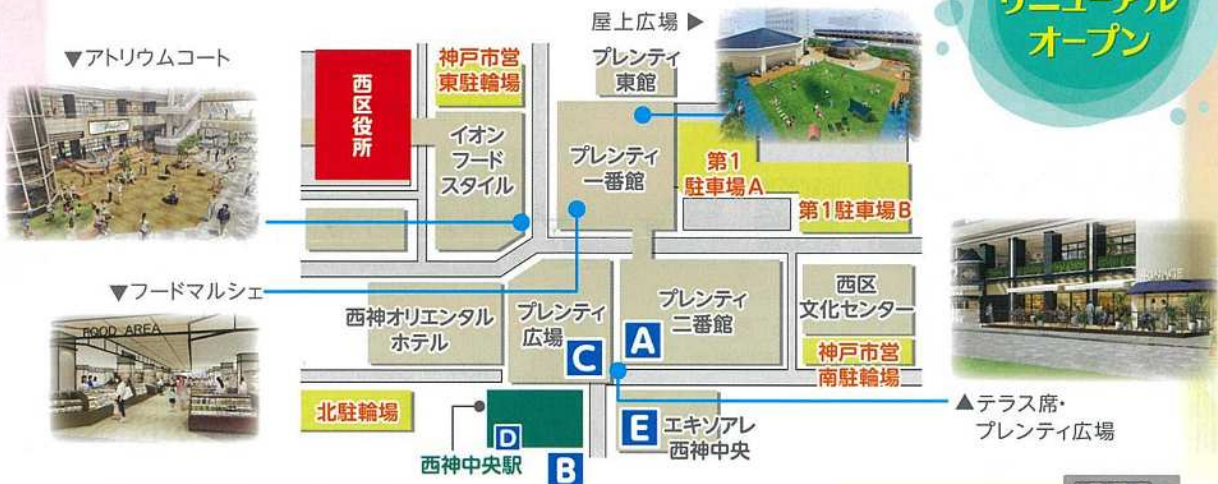
3

西区に関するお知らせ

1 プレんティ・リニューアル工事に伴う西区役所への動線変更

プレんティ工事R5年度初め頃 着工 **一番館 二番館** それぞれ一定期間休業(詳細調整中)

令和5年
10月中旬
リニューアル
オープン



西神中央駅から西区役所へのバリアフリールートは
A プレんティ二番館のエレベーターが便利ですが、
プレんティのリニューアル工事期間は使えないため
B 等のご利用をおすすめします。

【エレベーター運行状況】

- A** 7:30～深夜1:30(一定期間休止)
- B** 24時間(R5年4月～)
- C** 時間未定(R5年 秋頃利用開始予定)
- D** 7:00～21:30
- E** 10:00～20:00



2 玉津・伊川谷エリアのアルゼンチンアリ対策

R4年度

被害のご相談
神戸市HPの更新
被害場所への訪問・対策指導
周辺の実態調査
周辺自治会への説明・アンケート調査

R5年度

分布地域への対策方法のご案内
周辺住民対象の防除講習
継続した実態調査
専門家の派遣 等

詳しくはこちら↓



神戸市でも広く定着が確認されているアルゼンチンアリ。初夏から秋にかけて膨大な数に増えていきます。来年度、新たな対策が行われます。詳しくは市ホームページをご覧ください。



3 伊川谷駅南側の活用



困んだ部分が市有地で、一体的に集合住宅や商業施設を誘致する予定とのことです。来年度に事業者を決定するために準備している状況だそうです。



市政報告

発行No.0503-MO

神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話：078-331-8181
内線：7060

自由民主党神戸市会議員団 兵庫区支部 神戸市会議員

守屋 隆司

神戸市兵庫区荒田町1-7-12

電話：078-512-5722 FAX：078-512-5723

自由民主党神戸市会議員団

<http://www.jimin-kobe.com>

兵庫区版

ご挨拶

春の訪れを感じる毎日です。神戸市会では令和5年度当初予算を審査する予算市会（令和5年第1回定例会市会）が2月17日に開会し3月23日までの日程で行われました。

3年に及ぶコロナ禍の影響で、市民生活・神戸経済も大変厳しい状況にあります。

このような状況から早期に脱却し、コロナ前の日常を取り戻さなくてはなりません。

神戸市の当初予算も市民の暮らしと雇用を守り、下支えする事が期待されます。

私、守屋隆司は予算特別委員会局別審査では『スポーツ文化局・経済観光局』に質疑いたしました。

その後開催された「予算特別委員会総括質疑」において両局への質疑をさらに深めると共に

神戸市全般にわたる問題を質疑いたしました。以下、質疑の要旨をご報告させていただきます。

令和5年度が皆様にとりまして希望に満ち溢れた素晴らしい一年になります様

ご祈念申し上げご挨拶に代えさせていただきます。



総括質疑にて

令和5年3月 神戸市会議員 守屋 隆司

令和5年度 神戸市当初予算規模

一般会計	8,793億円(前年度比 △0.8%)
特別会計	6,802億円(前年度比 +3.0%)
企業会計	3,284億円(前年度比 △1.4%)
合計	1兆8,880億円(前年度比 +0.4%)



▲代表質問にて

令和5年度 予算特別委員会 局別審査 「文化スポーツ局」及び「経済観光局」にたいして質疑いたしました

新開地アートビレッジセンターのリニューアルについて

2月24日(金)

Q 「神戸アートビレッジセンター」は、この4月には、「新開地アートひろば」としてリニューアルオープンが予定されているが、地元や若者などの市民が日常的に訪れ、利用される施設となるよう、市が地域や指定管理者に対し、そのような方針やコンセプトをしっかりと示したうえで運営が行われるべきと考えるが。

Q 地域に開かれた施設となるよう、地域の方の意見をよく取り入れながら運営を進めるべきではないか。

A 地域に開かれた施設となる様運営していく、1階には子供の遊べるスペースも整備する。



▲予算特別委員会にて

令和5年度 予算特別委員会総括質疑のご報告(予算特別委員会局別審査を受けて)

中央卸売市場本場の再整備について

Q 中央卸売市場本場の再整備については、当初の再整備基本計画から工期が2年延長され、令和9年度に事業が完了予定で、移転を予定している冷蔵庫棟についても詳細な施設内容及び移転にかかる諸条件の協議を行っていること、今後再整備が滞りなく進むのか着実に令和9年度で事業完了できるよう努めるべき、場内事業者からは使用料の値上げに対する不安の声を聞く場内事業者が納得できるよう、迅速かつ丁寧に協議を行うべきと考えるがどうか？

A 再整備は確実に令和9年度完了予定で行っていきます。施設使用料については場内事業者の意見もお聞きして納得されるような内容になる様、努力いたします。

Q 2024年問題トラック運転手の勤務環境の改善がはかられることに伴い、物流の大きな変革も予想される、生産地のJAの集約が進み、大規模化して市場が選択される時代が近づいているとの認識である。すなわち、神戸の取扱量の減少が進めば、生産地からの荷が大阪どまりとなり、神戸は別途、運送料を払い、神戸まで荷を運ばなくてはならない。当然、大阪との価格差が大きくなり、さらに神戸の地盤が沈下する恐れがあるのではないか。

A 再整備基本計画を確実に進め市場の信任を得られるよう努力する。

市場・商店街の活性化について

3月8日(水)

Q 「令和5年度はポスト・コロナに向けた成長と域外から稼ぐ力の強化に、より力点を置いた経済戦略を進めていく」旨の答弁があった。とりわけ、市場・商店街において、これまでのコロナ禍や物価高局面で実施してきたお買物券や活性化イベントなど、緊急的で一過性の支援策だけではなく、持続可能な経済政策を進めていくべきではないか。

A 持続的な事業のきっかけになる様、事業を行っていきます。

Q 道路上に設置されている商店街において道路占用料について、いまだに苦しい経営が続く商店街もある中、道路占用料の納付は大きな負担となっている、道路占用料の減免を実施してきているが、商店街の厳しい状況を鑑み、時限的にさらに踏み込んだ大幅な減免を実施すべきではないか。

A 公共性を重視して減免を判断している。公共的な利用がある部分については減免対象としている場合もある。



▲予算特別委員会にて

国際交流について

Q 昨今、第二次世界大戦中にユダヤ人の難民がナチスから逃れ、神戸で一時滞在していたことが注目を集めている。また、ロシア革命で深江文化村に亡命してきたウクライナの音楽家を慕って門下生が集まり、数多くの日本人音楽家が誕生した歴史もある、世界的に誇れる人道支援や音楽を通じた国際交流が行われていた事実はあまり知られていない。さらに、現在はウクライナより避難民が80数名、神戸に逃れてきている。このような事例を含め、これまで国際交流があった素晴らしい歴史を解きほぐし、責任を持って伝承、幅広く情報発信していくことが、海外との国際交流や、外国人が暮らしやすいまちづくりを進める上で必要ではないか。

A 神戸市としても国際交流大変重視している、神戸での人道支援に関する歴史について別冊で記録史を発行している。神戸歴史のサイトも作成している。

まちなかアート事業の継続について

Q 令和3年度より実施しているまちなかアート事業については、コロナ禍におけるアーティストの活用場の創出し、最近では特に利用者も増え、文化の活性化に繋がっていることは評価している。一方で、令和5年度から補助金額をこれまでの上限20万円から10万円に引き下げられる。これまで高めてきた文化・芸術の機運を継続するためにも、補助金額の減額を再考すべきではないか。

A ライブハウスの活用、投げ銭や物販にて自主的に収入を得てもらいたい。発表する会場等の提供は行う。

地域コミュニティ交通へ「敬老・福祉パス適用実現」

Q 地域コミュニティ交通の支援については、令和5年度より、導入エリアの拡大に加え、補助上限も拡充されると聞く。あわせて、既存の支援制度では対応できない小規模需要地域に対応したデマンド運行支援制度が創設されており、先の9月議会で要望した「地域の事情にあったよりきめ細やかな支援」を一定反映している。地域の生活の足を守るためにも、地域コミュニティ交通に対して敬老・福祉パスを適用できるよう、検討を進めていくべきではないか。

A 市内で運行されているコミュニティバスにおいて敬老・福祉パスを利用できるよう技術的な問題を解決して早期実現を目指す。

Q 兵庫区では、神戸マツダさんによる地域貢献事業の一環とした「みんなのバス」が実証運行されているが、地域コミュニティ交通への支援としての運行にかかる本市からの助成はなく、収支も厳しい状況と聞く。先の9月議会では「地域コミュニティ交通の支援に乗るような形で、神戸マツダさんともきっちりと相談をし、地域とともに乗って支える仕組みをつくり上げていきたい」旨の答弁があったが、本市として必要とされている地域の足を守るためにも、支援の条件を見直すなど、助成に向けて一歩踏み込んでいくべきではないか。

A 現在事業社と鋭意協議を行っている。

代表電話業務と総合コールセンターの対応について

Q 市民からの電話による問い合わせを受ける代表電話交換業務と総合コールセンターは、市民と最初に接する重要な業務であるが、市民が望む担当部署に繋いでもらえなかったという声もある、これまでも適宜改善策を講じることで、応対時間や応対率の改善が図られているが不断の努力が必要ではないか。

A 応答率も向上してきており更なる改善に努めていきます。

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会について

Q 来年5月に開催される世界パラ陸上競技選手権大会の開催に向けては、様々な形で集客に関する取り組みを進めることが重要だと考えている。先の局別審査では、小学校の行事として観戦に来る際のバス代の一部補助について問うたところ、「効果があると思うので検討してまいりたい」旨の答弁があった。先日の関西広域連合議会でも、関西広域連合長から、「神戸市が企業の応援を得てバス代の補助を行うのであれば、広域に呼びかけ、みんなで参加できるよう積極的に協力したい」旨の答弁があった。大会の成功を導く上では、広く関西広域から観戦に来てもらうことが不可欠であり、広域連合構成自治体の学校に対して補助を出すことをより前向きに検討してはどうか。

A 学校観戦について企業等に協力を求める。

トピックス

★こべっこランドが、ハーバーランドより兵庫区和田岬に2月11日に移転リニューアルオープンしました。

敷地面積は従前の施設の約5倍です。

★神戸アートビレッジセンターがリニューアルされました。

神戸アートビレッジセンターは、阪神・淡路大震災直後の平成8年(1996年)市民を取り巻く芸術・文化の発展を図るとともに、地域の振興に寄与する事を目的に開館しました。

令和3年で25年を迎えた事を機に、時代に即した機能へと見直しを図り、アーティストやアートに関心がある人々だけでなく、地域の方々をはじめ多様な市民にも日常的に利用される施設とするため、リニューアルを実施します。「新開地アートひろば」と名称を改めてオープン予定です。

整備後
・ギャラリー(シアターからの転用) 現ギャラリーでは難しい閉鎖空間での展示が可能
・スタジオ1・2・3 映像制作機能など柔軟な活用を検討
・コミュニティスペース、飲食店舗 多様な世代が立ち寄りやすい空間
・子どもスペース、授乳スペース 日中は子育て世代向けのスペースとして活用し、夜などはコミュニティスペースと一体的に大人も活用する。
・事務室(スタッフを1階と4階で半数ずつ配置) 利用者とスタッフがコミュニケーションをとりやすくする。
・芸術家支援スペース 制作や展示など多様な使い方で芸術家を支援する。
・KAVCホール 音響設備のデジタル化改修
・アトリエ 廊下側から室内の活動を見える化
・会議室1・2 廊下側から室内の活動を見える化
・倉庫
・リハーサル室1・2
・事務室(スタッフを1階と4階で半数ずつ配置)
・トイレ 模様化含む美装化

★兵庫区菊水町10丁目附近の当該区間における国際海上コンテナ車(以下、海コン車)の通行は今後許可されません。

神戸市では、同様の事故が過去にも発生している点等をふまえ、車両制限令を超える特殊車両のうち、海コン車については、市道山麓線及び湊町線(鶴越～菊水10～夢野町2～湊川公園西口)の区間の通行を不可とし、国道2号・175号、阪神高速等の重要物流道路及び山麓バイパス等の利用を要請。

★市道山麓線における海上コンテナ車の横転事故に対する対応状況について

1. 事故の概要



◀令和4年6月29日(水) 午前7時20分頃 事故発生

2. 対応状況



▲減速マーク、路面表示(西行、東行共)の設置



▲注意喚起看板(2箇所)の設置



▲視線誘導標の設置

★神戸市が物価高騰の影響を受ける市民・銭湯を支援するため入浴料金の値上げ分を支援します。

これまで通りの価格で入浴ができます。

(入浴料金の上限額が490円に引き上げられましたが)

物価高騰の影響を受ける市民・銭湯を支援するため、入浴料金の値上げ分を神戸市が支援します。

※2023年3月1日～2024年3月31日まで

KOBE CITY OF DESIGN 神戸市

神戸市当初予算に関する自民党神戸市議員団としての統括的ご報告は、別途行われます。

垂水区内駅舎のバリアフリー化と小型バスの更なる充実を!!

神戸市政報告

編集・発行：
自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



予算特別委員会で質問する
神戸市議員 しろくに高太郎

教育子ども委員会 委員
神戸市議員
垂水区

しろくに高太郎

特集 令和5年度予算特別委員会で、都市局に対し質問を行いました。ウラ面に【議事録抜粋】を掲載いたしました。ぜひ、ご一読ください。

神戸市政の場で取り組む主な実績

議会での質問・要望が、少しずつ時間をかけ実現につながります。

垂水区の暮らしが最重要課題!!

01/ 市会本会議で質問(H28.10.27) 垂水区内の道路整備



小東山6丁目交差点付近の渋滞解消を取り上げて以来、周辺の道路環境整備については何度も繰り返し、市会で質問・要望を続けてまいりました。その他の地域でも、歩道の段差解消や通学路のグリーンライン舗装など、垂水区各所で施工されています。今年度は舞多間西での信号機設置も実現し、垂水小学校南西角の安全対策についても銀座通り南進一方通行案を引き出しています。現在は、垂水駅東線のより良い整備や垂水商店街の歩道改良、また福田川右岸の西垂水58号線の電柱移設などにも粘り強く取り組んでいます。新垂水体育館周辺道路の電灯設置や明るい平磯緑地にも取り組みました。塩屋多井畑線や大阪湾岸道路西伸部もそうでしたが、道路整備や改良には年単位の時間がかかることを痛感しています。今後も安全・安心でより快適な道路をモットーにエネルギーを注入してまいります。

02/ 令和2年度決算特別委員会で質問・要望 垂水駅東口のバリアフリー化を要望

平成27年4月に声を上げて以来、これまで何度もJR西日本に対し要望や関係者による現地視察を行ってまいりました。平成28年9月23日には、区内3団体の代表者名で要望、その後神戸市から平成29年2月2日に正式に文書にてJR西日本に元町駅東口とともに要望されています。西口にエレベーターがあるため、東口は「第2経路」としての要望となります。この「第2経路」の要望は現県知事にも行いました。また昨年2月には関よしひろ衆議院議員とともに改めてJR西日本へまいりました。JR西日本からは、「第2経路の整備対象駅は、別途検討中でありエレベーター対応が基本となる。垂水駅東口の設置課題としては、東口階段を全面閉鎖の可能性がある」との認識が示されています。今後、引き続き関係者の皆様と共に協議を続けてまいります。



03/ 令和4年度予算特別委員会で質問(R3.3.8) 垂水駅西口広場に時計設置

建設局への質問の中で、建設局長より「時計の設置についても検討していきたい」と答弁しています。ようやくですが、広場の整備に合わせて、3月末に設置されます。



04/ 神戸学院大学×JA兵庫六甲×神戸市 連携プログラム 「楽農アカデミー」の開講

JA兵庫六甲さんからのご提案もあり、私の母校である神戸学院大学に働きかけ、私達の命を支える第一次産業である就農者の育成と獲得、そして農地の積極的な活用に向けて、今年5月から開講出来る運びとなりました。神戸市のネクストファーマー制度にも認定され、「大学都市神戸」の創造を今後も積極的に推進します。

05/ 令和2年度決算特別委員会で質問・要望 犯罪被害者への支援拡充

神戸市は本年1月から15万円の「性犯罪被害者支援金」を新設し、教育や家事、また転居や裁判にかかる経費が引き上げられました。今後も犯罪被害者の方々の思いを共有し、広く社会に対し犯罪の無い世の中を目指したいと考えています。

06/ 福祉環境委員会(R4.2.21)で質問 要介護者が新型コロナ陽性者となった時の入院支援

特別養護老人ホーム入居者が新型コロナ陽性となった時の厳しい現状を訴えました。神戸市健康局もしっかり受け止めていただき、市内医療機関に理解を求め、「支援金の支給」という形で令和4年6月の補正予算で8700万円が計上され執行されています。

07/ 本会議での初登壇(H19.6)から機会あるごとに 介護・福祉人材の確保

機会ある度に質問・提案し、初任者研修の受講費給付金制度や住宅手当の支給、また高齢者介護士認定制度など「コウベdeカイゴ」事業にまで発展しています。平成20年頃では考えられなかった制度です。今後もライフワークの一つとして地道に取り組んでまいります。

08/ 外郭団体に関する特別委員会委員長として

令和元年度は、コロナ第一波の中、政調会長として数多くの要望事項や調整を神戸市当局と仕事をしましたが、外郭団体である神戸新交通の不適切な労使関係や料金窃盗事件など、委員長として相当な時間とエネルギーをかけて調査・審議致しました。



09/ 令和2年12月16日に市長に要望 学力向上について

中学生を対象に、無料の「学習支援事業」開始。



10/ 地方分権を推進するため、国に要望 国と地方の税源配分の是正

TURKEY トルコ・シリア地震の SYRIA 被災地支援募金のお願い

募金箱を設置しています。寄せられた義援金は、被災者支援、復興支援のために使わせていただきます。
■設置場所…●神戸市役所1号館1階インフォメーション前●各区役所・支所(計12箇所) 他
■期間…4月21日(金)まで ■振込口座…みなと銀行 神戸駅前支店 普通 1636996 神戸市社協災害救援募金B

令和5年 予算特別委員会 都市局に対し、 質疑を行いました 神戸市議員 しらくに 高太郎



令和5年2月27日



動画をご覧ください

1 垂水駅周辺のリノベーションについて (1) 垂水駅前道路の整備について

■質問: しらくに高太郎
銀座通りを南向き一方通行に変更しようとしている。歩行者の横断が多い駅前交差点に車が集中することで、交通渋滞や歩行者と車の接触による事故が懸念される。地域の方も関心を持っておられることでもあり、安全でスムーズな通行を確保してほしいと考えるが、どのような対策を検討しているのか。

■答弁: 都市局副局長
垂水小学校の南西交差点で西進してきた車両がやむを得ずUターンし人身事故も発生している。このため、銀座通りを南向き一方通行に変更し、合わせて歩行者専用規制を解除しようと地元調整を進めている。
横断歩道の着色や車道の隆起、また一部を狭くすることで流入抑制をし、交通量が大きく増えず、交通渋滞は発生しないと考えている。また、現在駅前交差点には十分なたまり空間がない。このため、拡張工事を行う予定である。さらに、垂水駅前東線の南側に新たに歩道を設け、安全性の向上を図っていきたい。

(2) 垂水駅前東広場の整備について

■質問: しらくに高太郎
駅前イベント等が実施される貴重なスペースであり、秋には布団太鼓の練り合わせも行われる大変よく活用される広場である。新図書館が出来ることが、現在の広場の広さを確保することになっているのか、確認したい。

■答弁: 都市局副局長
約20年間、地域の方々にとって非常に大切な場所となっている。概ね従来通りの広さを確保し、西側の樹木やベンチを撤去し再配置し、今まで以上にイベント利用しやすいオープンスペースの確保を検討している。令和5年度に地元の方の意見をお聞きしながら設計を進め、令和6年度に工事着手したい。

(3) 垂水小学校周辺道路の整備について

■質問: しらくに高太郎
垂水小学校へ通う児童のための十分な安全対策を行ってほしいと思うが、ご見解をうかがいたい。

■答弁: 都市局副局長
十分な安全対策が必要と考えている。具体的には、小学校南西交差点でのUターンを防ぐため、銀座通りの交通規制を見直し、不法に駐車する荷捌き車両対策として、銀座通り西側に駐車場所を設けることにしている。また、南側の東西道路は、車両の速度抑制を図り歩行者優先の工夫をしたい。さらに、小学校南西角の隅切り部分を広げ、歩行者空間を確保するなど様々な安全対策を講じたい。

(4) 垂水中央東地区民間市街地再開発事業について

■質問: しらくに高太郎
今後計画通り、事業の完了に向け着実に事業を進めてほしいと考えるが、ご見解をうかがいたい。

■答弁: 都市局副局長
昨年9月に権利変換計画の認可に至ったが、明け渡しが行われていない権利者の方々については、引き続き再開発組合が丁寧に協議を行っている。令和7年度の再開発ビル完成に向け、明け渡し協議と並行し、既存建物の除却や文化財調査について実施可能な部分から進めている。引き続き再開発組合へ助言指導を行い補助金の交付により支援していきたい。

(5) JRおよび山陽電鉄との連携について

■質問: しらくに高太郎
東地区の再整備が進むと西地区へも拡大し、大きくまちが生まれ変わっていくと期待している。そうした中で、垂水駅周辺の再開発に当たっては、鉄道会社と連携し、更なる環境向上を目指していく必要があると考える。駅周辺のまちづくりについて、JR、山陽電鉄を交え検討を行っていただきたい。

■答弁: 都市局長
区を中心にふさわしい魅力あるまちにするために、立地条件を生かし、地区全体が一体となって、にぎわいを創出することが重要であると考えている。そのため、まず現在の垂水活性化プランの各種取組を着実に進めることが不可欠と考えている。
また、環境向上のためには、中央東地区以外での再開発の取組や回遊性を高めるための取組など、様々な課題に引き続き対応していく必要があると考えており、JRや山陽電鉄との協議懇談の場を積極的に設けながら検討を進めていきたい。

2 山陽沿線の活性化について

■質問: しらくに高太郎
霞ヶ丘駅のバリアフリー化が計画されており、大変期待している。神戸市と山陽電鉄と連携して、須磨垂水の地域活性化に取組まれるとの事で、積極的に推進してほしい。都市局はどのように役割を担っていくのか。

■答弁: 都市局長
令和5年度予算で、霞ヶ丘駅の再整備プランの作成に対し補助を行うこととしており、担当していた未来都市推進課が企画調整局から都市局に来ることになる。沿線エリアの地域活性化について、より一層積極的に取組んでまいりたい。

3 地域コミュニティ交通の推進について

■質問: しらくに高太郎
地域公共交通を確保することは、今後のまちづくりにおいて大きな課題の一つであり、積極的に進めてほしい。また、『利便性を高めるため、敬老バスやICタッチ化などの環境整備の拡充も進めていただきたい』と以前から申し上げてきた。特に敬老福祉バスの運用については、ICカードの読み取り基盤の整備が困難とのことだが、より簡易な方法で対応できる工夫も検討すべきと考えるがどうか。

■答弁: 交通担当部長
敬老福祉バスの適用やICタッチの環境整備は、高齢者等の外出支援やキャッシュレス決済等のニーズに対応するためには、非常に重要であると考えている。
交通系ICカード読み取り基盤の整備には多額の費用が必要となるが、敬老福祉バスの適用については、より簡易な方法で対応できる工夫の検討も必要と考えている。例えば、そのICカードでは引き取りは出来ないが、利用実績を把握する簡易な機器を設置するなどして適用を可能とするなど、運行事業者や福祉局と検討したい。

4 産業用地における企業誘致の推進について

■質問: しらくに高太郎
これまで産業団地において積極的な企業誘致に取組んで来られた結果、順調な用地処分が進んでいることを大変評価させていただいている。ストックがわずかになっているとの事だが、残りの産業用地についても神戸経済の発展や働く場の確保という点から、企業の高いニーズに応じて処分を積極的に進めてほしい。

■答弁: 新都市事業担当部長
各産業団地への大企業進出は、順調に推移している。今年度も4社で2.2ヘクタールの進出が決定した。残面積が少なくなり、同一区画に複数の事業者が応募され、ニーズに十分応えることが出来ない状況も増えてきた。
神戸テクノロジースティックパークでは、新たに製造工場用地を生み出す予定である。また西神戸ゴルフ場を転活用した新たな産業団地も計画し、令和8年度以降の供用開始に向け取組を進めている。神戸経済の更なる発展や働く場の確保に寄与出来るよう、積極的に誘致を進めていきたい。

5 JR三ノ宮駅新駅ビルのデザインについて

■質問: しらくに高太郎
神戸の中心であるJR三ノ宮駅の新駅ビルのデザインについて、どのように神戸らしさを実現しようとしているのかうかがいたい。

■答弁: 都心再整備本部長
昨年6月、様々なご意見を聞きながら景観デザインコードを取りまとめた。その中で神戸らしさを3点に整理しました。①都市的な建物と美しい港と緑豊かな六甲山、都市と自然が調和した上質なまちなみ②国際性にも富み、いろんなモノやヒトやコトが入り受け入れる進取の気性③震災を乗り越えて助け合いの心を持った多様な人が集まって交流する…新駅ビルもこの考え方で設計を進めていただいております。六甲山の眺望に配慮し壁面を少しセットバック、屋上広場や最上階に近い場所に展望空間、三宮の顔となるビルの南西部は、丸みを帯びたデザインで開放的な吹き抜けに、改札口から真っ直ぐまちの方に開かれた低層部動線も整備していただく。

6 神戸らしい多様なまちの美しさを生かした魅力づくりについて

■質問: しらくに高太郎
歴史的価値のある建築物の保存活用を図るため、令和5年度予算では、一般財団法人神戸シティ・プロパティ・リサーチと連携した所有者等への支援を行うとのことだが、その狙いと今後の展望についてうかがいたい。

■答弁: 景観政策担当部長
一般財団法人神戸シティ・プロパティ・リサーチは、近代洋風建築や茅葺き民家など、神戸のまちの魅力を構成する歴史的建築物の保存活用を行っていただくことを設立目的の一つとしている。令和5年度は、所有者による事業化検討に対する補助や耐震改修工事費の補助、入居者に対する初動期の賃料補助といった所有者による活用を支援するための新たな制度を設けたいと考えている。

より良い神戸・垂水へ!!
神戸市議員
しらくに 高太郎
コータロー

神戸市会にて令和5年度当初予算を可決しました

新しい時代を創る 積極的な予算編成を提案!!



▲予算特別委員会で
都市局・建設住宅局に質疑

企業会計

3,284億円

予算総額

1兆8,881億円

前年比
プラス77億円

特別会計

6,803億円

一般会計

8,794億円

【一般会計】

コロナ禍における原油価格・物価高騰対策と、感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保に最優先で取り組むとともに、「SDGs(持続可能な開発目標)」に沿った施策の展開により、くらしの質と都市の価値を高め、神戸を「さらなる高み」へ押し上げ、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策を積極的に計上しました。

【特別会計】

神戸空港の国際化を見据え、空港基本施設やサブターミナル等の整備を進めるにあたり、空港整備事業費特別会計を新設しました。

【企業会計】

西神中央ホールの整備に伴う土地購入費の減等により新都市整備事業会計が減少した一方で、空港整備事業費への貸付金の皆増により港湾事業会計が増加しました。

※会計数字はわかりやすくするため、一千万の位を四捨五入して記載しております。

切れ目のない子育て支援

子ども医療費
助成制度の拡充

53億4,300万円

子育て世帯における経済的負担を軽減するため、外来医療費助成の対象を高校生世代にまで拡大します。(令和5年10月開始予定)



こどもの遊び場
拠点の整備

3,300万円

こべっこあそびひろば(西図書館跡・令和5年5月開設予定・市内3カ所目)、おやこふらっとひろば(垂水区文化センター体育室跡・令和5年6月開設予定・全区整備完了)などこどもの遊び場拠点を拡充します。

学校給食における
食材費高騰対策

2億7,900万円

コロナ禍における食材高騰により、値上げが必要な小・中学校等の給食費を現行の料金で据え置き、子育て世帯への経済的な支援と栄養バランスのとれた学校給食の維持に取り組めます。

高齢者・障害者施策の充実

コロナによる
健康2次被害対策

9,800万円

コロナによる健康2次被害を防止するため、緊急重点対策として市内各所で「転倒リスクチェック」を実施し、転倒リスクがある方を対象に、リハビリ専門職等による3か月間の短期集中プログラムを実施します。

障害者・児への
計画相談支援の促進

1億2,700万円

障害福祉サービスの利用者やその家族の負担軽減、適切なサービス提供を行うため、利用計画の作成を担う事業所に対し、人材確保やキャリアアップについての支援制度を拡充します。

シニア
キャリア相談

3,500万円

働く意欲のある高齢者の方に、キャリア相談や就労支援などを行います。

地域コミュニティ交通の推進



1億3,400万円

地域交通の維持や交通空白地の課題解決に向けて、地域コミュニティ交通の導入エリアの拡大(10→16地域)や、補助の上限額の拡充(例:市街地(タクシー1台)300万円→350万円)のほか、小規模需要地域に対応したデマンド運行支援制度を創設します。

神戸空港の国際化への対応



空港の機能強化

96億8,600万円

2025年の国際チャーター便運用に向けて、空港基本施設、サブターミナル、駐車場等の整備を進めていきます。

交通アクセス
の強化

11億4,200万円

神戸空港の今後の航空需要に対応した交通アクセス強化にむけて、空港連絡橋の4車線化や生田川右岸線の機能強化、新交通三宮駅のホーム拡張などに取り組むとともに、三宮・新神戸駅から空港までの輸送力強化の検討など中長期的な取り組みを進めます。

観光需要・
ビジネス需要の創出

16億6,800万円

空港の需要拡大に向けた調査を実施するほか、「登山プロジェクト」や空港島からの海上航路誘客ルートの検討など新たなコンテンツ造成、また、分散型花火・イルミネーションイベントの開催や国際化を見据えたインバウンドプロモーションなどを展開していきます。

長田区の課題等を予算特別委員会で質疑

神戸市令和5年度予算は、予算特別委員会に付託され局別に審査が行われました。
平井は都市局・建築住宅局に対して質疑を行いました。

議事録・録画配信は
神戸市会ホームページ



神戸市会

検索

都市局

新長田の温泉事業



Q1 国道2号線北側の再開発では、温泉を掘削し、スポーツジムやホテル、マンションに温泉を供給してきた。しかしスポーツジムが温泉事業から撤退をし、泉源の設備の維持管理が難しいことから、温泉事業を廃止する方向で検討が進められている。従前より付加価値の高いまちづくりと行われた温泉事業だが、温泉付きマンションが2007年に完成してからわずか16年ほどで終息するのは残念だ。事業期間の想定や、長期的な収支など、当初の計画はどのようなものだったのか。また、温泉の活用を十分に検討してきたのか。

A1 アスタ温泉は平成9年に地元から温泉による町おこしの提案を受け事業を開始した。当初は地域で会社を立ち上げたが、経営的に厳しく平成19年に新長田まちづくり株式会社に引き継いだ。当初の計画は温泉利用料で、毎年の運営費と長期的な修繕費を賄うというものだ。令和4年度は緊急的に市が費用負担して温泉供給を維持しながら、事業継続の検討を行ってきた。これまでスポーツクラブに温泉利用再開を申し入れ、他の企業にも相談したが新たな利用者は見つかっていない。事業の継続には、現段階では住宅の温泉利用料を増額するしかなく、ビル管理者を通して提案している。

Q2 利用料の増額では、管理費が受け入れ難いほど高額になる。維持費に当面は神戸市からの支援を行いながら、温泉活用に向けて検討を続けることはできないか。

A2 その主張は重く受け止めているが、住宅各戸の専用区画に供給する温泉なので、利用者負担が基本だ。市費を投入するのは難しいと言わざるを得ない。今回増額の提案が受け入れられなければ、一旦は停止することになるが、引き続き新たな活用先はしっかりと探していきたい。

Q3 仮に温泉を廃止すると、温泉を目当てにマンションを購入された方は、話が違ふという思いだ。また温泉用のセカンドバスが無用の長物になる。神戸市が販売したマンションであり、何らかの寄り添った対応が必要ではないか。

A3 引き続き事業継続策について検討を行い、今後の対応策の相談に乗るなど、できるだけ丁寧な対応を心がけていきたい。

ピフレ新長田のテナント誘致

Q 新長田駅前広場の再整備により新たな人の流れを期待するが、広場の目の前のピフレ新長田は厳しい状況だ。2階のマイナンバーカードのサテライトは3月15日に終了し、その後は未定だ。2階で物販が頑張っているが、お客さんがフロアに入っていない構造だ。テナントの誘致に抜本的な見直しが必要ではないか。

A ピフレ新長田で市が所有する商業ゾーンの床は、地下1階と地上2階で、2階の3区画が3月末をもって退去する。サブリースである株式会社くづかとも連携し、ビルの区分所有者の意見も聞きながら、魅力的な商業テナントの誘致に積極的に取り組んでいきたい。



建設住宅局

管理不全空家等に対する 勧告措置基準の見直し



Q1 危険度の高い管理不全空家等に「勧告」等の必要な措置を早期に講じることを求めてきた。令和5年4月から、「勧告」の対象を、将来的に第三者への著しい被害を及ぼすことが予見される建築物に拡大される。今回の見直しにより、改善はどの程度進むのか。

A1 特に危険度の高い建築物で、将来的に第三者へ著しい被害を及ぼすことが予見される場合も勧告の対象とする。例えば建物が傾いていない、または外壁や屋根に破損はないが、高いところから瓦や外壁の一部が落下している、あるいは塀が広範囲に劣化し倒壊するおそれがある、そのようなもので周辺への著しい影響がある場合は勧告の対象としたい。勧告により、解体補助等の技術的援助の活用も可能となり、固定資産税の住宅用地特例が解除されることで、早期改善を促すきっかけとなる。

Q2 今回の見直しの対象は建築物だが、敷地内に雑草や木が繁茂している案件ではどうか。「雑草が繁茂している空き家・空き地を一律に勧告することが法律で予定されているかは慎重な判断を要する」とのこれまでの答弁だが、現在、特措法の改正に向け、特定空家より早い段階での対策を国において議論している。新たに規定される「管理不全空き家」は、敷地内の雑草の繁茂や、窓が割れていることなどが想定されているので、神戸市もさらに見直しが可能となるのでは。

A2 今後、国の動向を注視し、空家特措法の改正内容について、正確な情報収集に努めたい。

■ 特定空家等の判断基準

特定空家等分類	悪影響の程度と危険等の切迫性			
	地域住民等の生命、身体又は財産に危険を及ぼすおそれがある	地域住民等の生命、身体又は財産に著しい危険を及ぼすおそれがある	地域住民等の生命、身体又は財産に著しい危険が切迫している	地域住民等の生命、身体又は財産に著しい危険がさらに切迫し放置できない
保安上危険				
措置の範囲	助言又は指導	勧告	命令	代執行

危険

将来的な被害の可能性も対象に拡大

応急的危険回避措置の見直し

Q 所有者不明案件への応急的危険回避措置を見直し、所有者不明と同じような状態であれば対応するということだが、詳しい見直し内容は。

A 市民の安全・安心の確保のため、所有者が判明している場合でも、緊急の対応の必要を市長が認める場合に措置を実施できるよう、今回条例改正議案を提出した。具体的には、台風により急激に空き家等の状態が悪化した場合や、複数所有者の内一部の所有者が行方不明である場合、また所有者が意思表示を行うことができないような特別な事情がある場合で、真に危険が切迫している場合等を想定している。

〔民法改正〕所有者不明土地・建物管理制度

Q 新たな所有者により適切な管理が行われるよう、神戸市がこの制度を積極的に活用して、根本的に空き家・空き地の解消を進めるのか。

A 「所有者不明土地・建物管理制度」というのは、特定の土地・建物の特化した新たな財産管理制度。従来の相続財産管理人制度や不在者財産管理制度に比べ迅速な手続きが可能で、申立人が負担する予納金が少なく済む。市が申し立てる場合は、管理人による管理費用や解体費用は予納金から支払うが、売却できればその利益から回収する仕組みで、売却可能性がある案件では制度の積極的な活用を進めたい。

〔民法改正〕越境竹木の剪定・伐採

Q1 民法改正で、隣地の竹木が越境してきた場合、一定の条件を満たせば、越境された土地所有者が越境部分の竹木を剪定・伐採できるようになる。以前から隣の方が自ら伐採していた事例があるが、合法となることで市も支援する方針だが、その具体的な内容は。

A1 越境している竹木が高木の場合、事業者へ委託せざるを得ず費用負担が大きくなることから、隣接土地所有者に対する新たな補助を創設する。法・条例に基づく指導相当以上で、所有者不明の案件について、隣接土地所有者が越境部分の5メートル以上の高木の枝を切除する場合にかかる費用の2分の1以内、かつ上限60万円まで補助する。

Q2 補助の要件に所有者不明とあるが、所有者不明とほとんど変わらない場合も含まれるのか。また樹高が5メートル以下の場合も柔軟に運用すべきだ。

A2 相続等で所有者が全く覚知できていない例に加え、未精算の法人など市から所有者に指導等ができないものも対象とする。一定の高さは補助を決める上では必要で、まずはこの制度で始めたい。2階建ての軒下より若干低いぐらいの高さであれば、自ら切除することも可能と考え設定した。要望があればまた考えたい。

改正法 土地所有者による枝の切り取り

越境された土地の所有者は、竹木の所有者に枝を切除させる必要があるという原則を維持しつつ、次のいずれかの場合には枝を自ら切り取ることができることとする

- ① 竹木の所有者に越境した枝を切除するよう催告したが、竹木の所有者が相当の期間内に切除しないとき
 - ② 竹木の所有者を知ることができず、又はその所在を知ることができないとき
 - ③ 急迫の事情があるとき
- (R5.4.1 施行)

お問い合わせ
連絡先

自由民主党
神戸市会議員団

中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
TEL. 078-322-5846
FAX. 078-322-6164

平井まち子
事務所

長田区五位ノ池町3-9-30
TEL.& FAX. 078-643-0647(電話は月～金 9時～17時)
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市政報告

灘区版

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

編集・発行:
自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL.078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



予算特別委員会で質問する
神戸市議員 吉田健吾

自由民主党神戸市議員団
神戸市議員
灘区

吉田健吾

よし だ けん ご

令和5年第1回定例会市会(開会:2月13日~閉会:3月23日)

令和5年度当初予算案を審議しました

令和5年度予算編成にあたっては、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策と、感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保を継続することで、市民の生活を守ることを最優先に取り組む内容となっています。

また、神戸空港の国際化に向け、新たな施策の構築や既存施策の再構築に取り組むことで、神戸を「さらなる高み」へ押し上げ、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を確かなものにしていくものとしています。

市民の命と生活を守り、ポストコロナ時代や神戸空港の国際化を見据え、神戸を新たなステージへ発展させていくために、7つの柱に沿って予算の中身を大胆に重点化した内容となっています。

- 7つの柱
- 1 コロナに打ち克ち、物価高騰に対応する
 - 2 健康・安全を守る
 - 3 温もりのある地域社会を創る
 - 4 のびやかなくらしと環境を創る
 - 5 力強い神戸経済を創る
 - 6 未来に輝く神戸の街を創る
 - 7 DXの活用による市民参加を進める



神戸市の予算決算▲

令和5年度神戸市の予算 海と山が育むグローバル貢献都市の実現

予算総額: 1兆8,881億円 (前年比: +77億円)

● 一般会計: 8,794億円 (前年比: -75億円)

福祉・教育・道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

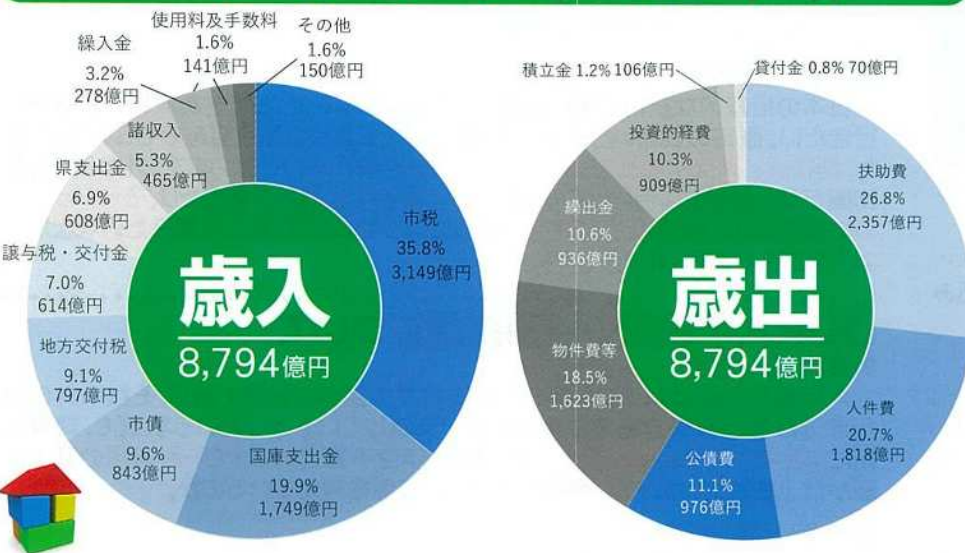
● 特別会計: 6,803億円 (前年比: +198億円)

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

● 企業会計: 3,284億円 (前年比: -46億円)

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者みなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



市民1人あたりの行政コスト 一般会計の支出を 58万円になります



※令和4年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,509,916人で算出しています。
※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます

第28回 桜まつり開催 イベント

～美しいまち・灘～花と人とふれあいの輪
今年は飲食の模擬店も復活します。

- 令和5年4月1日(土) 10:00-15:00
- 都賀川公園 (少雨決行・荒天中止)
- ステージ: 灘区民ホール (大雨警報発令時中止)

第50回 六甲ファミリーまつり イベント

4年ぶりに「六甲ファミリーまつり」が戻ってきます!今年で50回目を迎える、区民手づくりのまつりです。ご家族やお友達と一緒にぜひご来場ください!

- 令和5年5月27日(土) 11:00-17:00
- 王子陸上競技場前広場

TURKEY SYRIA トルコ・シリア地震の被災地支援募金のお願い

募金箱を設置しています。寄せられた募金は、被災者支援、復興支援のために使わせていただきます。

■ 期間...4月28日(金)まで ■ 振込口座...みなと銀行 神戸駅前支店 普通 1636996 神戸市社協災害救援募金B

令和5年 予算特別委員会 局別審査

環境局、建設局に対し
質疑を行いました。



神戸市会議員
吉田健吾

環境局

2023年2月27日

1 カーボンフットプリントの有効活用について

■質問：吉田健吾

地球温暖化について、待たなしの状況と感じています。市民の行動変容を促してもらいたい。協働と参画を掲げてきた神戸市として、カーボンフットプリントの有効活用について今後どのように進めていくのか。

■答弁：福本環境局長

私たちの日頃の暮らしがどれだけ温室効果ガスを出しているのか、これを見える化すること。その1つの手法がこのカーボンフットプリントです。神戸の個性、特徴を踏まえながら、十分理解してもらえるように普及をしていきたい。

2 クリーンステーションの在り方について

■質問：吉田健吾

来年度予算において、クリーンステーションの在り方について具体的な検討を進めていくこととされています。高齢化が進み、人口減少も避けられない時代となっている中、持続可能なクリーンステーションの在り方が求められます。どのような課題について検討しているのか、具体的な内容をお伺いいたします。

■答弁：福本環境局長

高齢化やまちづくりに伴い、クリーンステーションを増やしてほしいあるいは移設してほしいといった要望がたくさんあります。まずは中間取りまとめを出して多くの皆さんの意見を伺って、新年度に抜本的な改善方針をお示ししたい。

■要望：吉田健吾

大きな負担を地域が担ってくれているということを大前提とした上で、何十年先も持続可能なごみ収集の事業が進められることを強く要望したい。

3 クリーンセンターのエネルギー活用等について

■質問：吉田健吾

市内3か所のクリーンセンターにおいては、ごみ焼却の熱を利用した発電を行い、令和3年度、約16億円の売電収入があったと聞いている。このほか、電力や排熱で生じるエネルギーを活用する方法や最先端の脱炭素技術について調査することが令和5年度予算においても示されています。具体的にどうしていくか。

■答弁：高見環境局担当部長

神戸市の3クリーンセンターのうち港島クリーンセンターは、国内の発電設備を有するごみ処理施設のうち全国3位の発電効率となった。今年度は3つのクリーンセンターにおける電気や排熱の活用状況や過去の運転データを整理し、環境価値の高い電力や、現状で活用できていない排熱を自立・分散型のエネルギーとして地域で有効利用するため、最適な最先端技術について調査している。



■質問：吉田健吾

令和4年度及び令和5年度の売電収入をどう見込んでいるのか、現状と見込みについて御見解をお願いいたします。

■答弁：高見環境局担当部長

令和4年度、約21億円の売電収入を見込んでいる。令和5年度の売電単価につきましては、4年度と比較して、1.3倍から1.7倍となっています。電力の需要が高まったことで、買うほうの電力単価と同様、売る売電単価についても増加している。今後さらなる発電効率の向上に取り組んでいきたい。

■要望：吉田健吾

近隣市との連携で燃やせるごみを受け入れるなどということは検討できるのではないかと。能力を使い切り、売電収入も増やしつつ、近隣市に感謝してもらえるようなことができるのではないかと。今後を注目したい。

建設局

2023年3月2日

1 公園づくりについて

(1) 公園の整備手法について

■質問：吉田健吾

身近な公園を見ていると、同じような公園ばかりで特色がないように感じられます。何か基準があるのか。



■答弁：広脇建設局担当局長

公園の整備については、ブランコ、滑り台、砂場、これが児童公園の基本的な整備内容でございました。特色のない公園も数多くあるということも認識している。

現在建設局では、KOBEPARKリノベーションを策定しまして、地域のまちづくりの核となる公園を拠点公園に位置づけ、公園の機能や魅力を向上させることで地域のにぎわいを創出する取組を進めている。このお決まりのパターンにならないよう、個性的で魅力ある公園づくりを今後は進めていきたい。

■質問：吉田健吾

3〜5歳ぐらいのときに様々な動きをして、どれだけ神経に刺激を受けているかが重要であると言われています。そこで、身近な公園を利活用して、そのような仕組みを作れないか。例えば広場に小山や斜面を造ったり、アスレチック的な要素を盛り込むことで、運動神経や体力の向上につながるのではないかと。他都市でも事例がないような思い切った公園づくりを始めてはどうか。

■答弁：林建設局長

各区1〜2か所を目標に、子供の遊び場拠点の整備を進めております。子供たちがわくわくするような魅力的な遊具の整備を進めている。小山や斜面等の地形の変化を利用して遊べる空間、こういったものの整備も併せて検討していきたい。

動きに変化があり伸び伸びと遊べる場所を整備し、より多くの市民に利用される公園づくりを進めてまいります。

(2) 拠点公園について

■質問：吉田健吾

各区のシンボルとなる拠点公園として位置づけられた中に、灘区では灘丸山公園があります。駐車場が少ないことや市バスは1時間に1本程度。今後どのような整備を考えているのか。

■答弁：広脇建設局担当局長

ワークショップで健康遊具の充実とか休憩施設の更新、バスケットゴールの整備などのご意見をいただいた。できる範囲で駐車場の確保であるとか新たな施設の整備を取りまとめた拠点公園としてふさわしい整備に取り組んでいきたい。

2 王子公園再整備について

■質問：吉田健吾

令和5年度に検討が行われる基本計画策定について、重要な点がいくつかあります。例えば原田の森のコンセプト、山から海まで広がる神戸を代表する美しい景観、人々が憩い、つらげる空間、公園利用者が動物園を感じられるような仕組み、近隣地域への貢献と市域全体への貢献の両立など、これらの視点を踏まえて基本計画策定をどのように進めていくのか。



■答弁：林建設局長

古くから原田の森として育まれてきたこの歴史文化を踏まえた新たな原田の森の創出を図っていきたい。次に、緑豊かなこの公園内から六甲山の山並みが見え、神戸のよさを感じられるこの現在の景観の維持、継承には十分意を払いたい。誰もが憩い、集えるような空間については、現在、公園内に不足しておりますので、創出していきたい。緑の広場など多くの人がにぎわうような使い方ができる施設の整備を進めていきたい。

また、緑の広場と動物園のエントランスのこの一体性を演出することで、公園利用者が身近に動物園を感じることができるようデザインを工夫したい。

さらに、共用施設としての動物園、あるいは健康増進・スポーツ振興に資するスポーツ施設の機能の充実と、こういったものを図ることで市域全体に貢献することと併せ、子供の遊び場や憩いの空間など、身近な公園がもたらす機能を充実させることによって、近隣地域にも貢献していきたい。

■要望：吉田健吾

日本の伝統的な技術も使いながら、市民皆さんでつくってきた原田の森を見に行きたい。原田の森というものが一番上に来るように取り組んでもらいたい。また、動物園と隣接するところが全部柵である必要はないと思います。外からでも動物園だなど分かるようにしてみたり、親水機能的な噴水であったり、そういったものの横に水辺の動物たちが見えるようになっていたり、みんなが来たいと思うような工夫をお願いしたい。

3 JR六甲道駅の駅前整備について

■質問：吉田健吾

六甲道駅北側はバスロータリー、駐輪場が大部分を占めており、それ以外の通行部分は歩行者や自転車に乗った人が交錯しているだけという状況で、規模の割に憩えるような場所が少ないかと。令和5年度予算で地下タワー駐輪場の基本計画が計上されていますが、今後どのような整備を考えているのか。

■答弁：林建設局長

六甲道駅南側の駅前広場に地下タワー式駐輪場を2基新設するというので、この北側の駅前広場や駅周辺の駐輪場の集約・再編というものを進めまして、ゆとりある歩行者空間の確保をしていきたい。再整備により、駐輪場の不足を解消することと併せて、北側の駅前広場でこの生み出されたスペースで座りやすいベンチを配置するなど、居心地のよい魅力的な空間にリニューアルしていきたい。

■要望：吉田健吾

バス停もピークの時、列がすごく長くなる。工夫を凝らして、より良い六甲道に。

神戸市会議員 **吉田健吾**
灘区



副議長 坊池 正

令和4年度主な諸役

第116代神戸市会副議長
建設防災委員会委員



防災福祉コミュニティ(西区)
救命処置の手順を指導する 坊池
2023年3月5日

坊池 正

ほういけ ただし

自民党
www.jimin-kobe.com
市政報告

発行：自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5846

2023/4
(西区版)

ご挨拶

早いもので、神戸市会議員を4期16年、16年目の年には神戸市会副議長を就任させて頂きました。

振り返れば、消防訓練中での足の損傷もあり、人命救助は難しいとの判断により神戸市消防局を早期退職、地元の応援などにより選挙3カ月前に立候補決意し、初当選させて頂きました。当選時、議員職務の右も左も分からない状態でした。しかし、実家(西区)が酪農、農業を行い、地元の学校を卒業、神戸市消防局に勤務、農業、救急、消防、災害経験を活かし、まずはその分野を中心に専門的な知識をもって活動しておりました。また、他議員は水道局、元学校教員、労働組合、業界団体等からとさまざまな分野の特化した議員や農業を行う議員なども同様に神戸市会で専門的な議会活動を行っておりました。

しかし、現在の神戸市会は、海と山に囲まれた神戸市ですが、港湾や漁業関係の議員はゼロ、農業を行わない農家出身議員が2名、農業を行う議員は私1人だけという状況です。議員の担い手不足と共に特化したプロフェッショナルな議員が少なくなったと感じる4期目でした。

その中、さまざまなアプローチから神戸市、西区の事を考え、微力ですが進行されたり実現した事なども多々あり、充実した議会を送れた事に感謝し、残された任期に務めて参りたいと思っております。

この度の市政報告では、通信等が使用できない場合の災害対応時での市職員によるマンパワーの対応、全国初！神戸市避難所開設・運営マニュアル、災害に備えた水道の状況、そして各家庭で常に家庭内備蓄(7日分)について掲載しましたので、ご一読して頂けたら幸いです。

第116代 神戸市会副議長 坊池 正
神戸市会議員

災害時は市職員のマンパワーが重要！

坊池 正 (消防局) 2022年2月28日

ICTやAIなどの新技術も必要だが、災害時はやはり市職員のマンパワーであると考えますが。

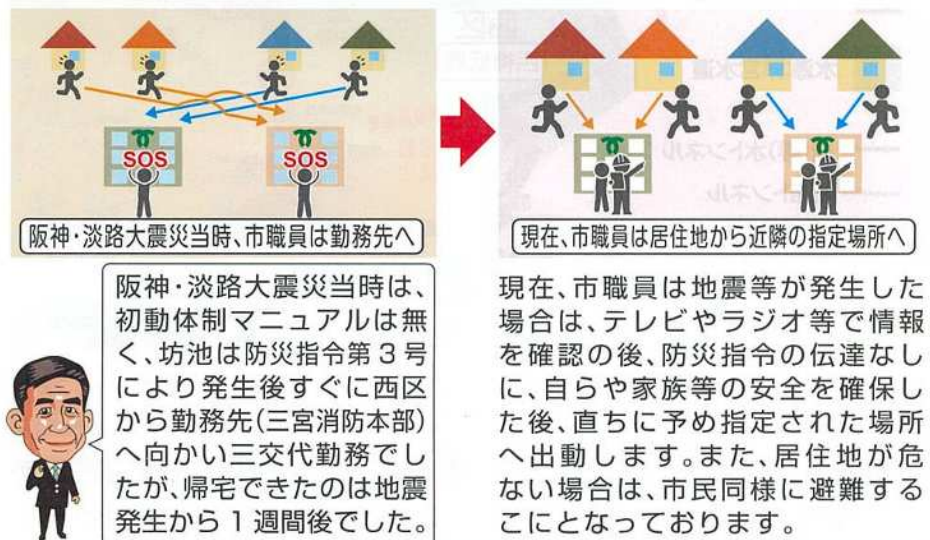
南海トラフ巨大地震は今後30年で7~8割の確率で発生すると言われており、しっかりとした備えが必要であります。特に災害時の避難所の運営は、市民の生命を守る上で大変重要であります。その担い手となる市役所の職員数は、阪神・淡路大震災以降の行革で大幅に減少しています。さらに令和3年度から、区役所業務の一部について民間委託化が進められており、区役所の職員も今後減少していくことになると思います。ICTやAIなど、新技術の活用も必要ですが、災害対応において最後に物を言うのは、やはり市職員のマンパワーであると考えますが如何でしょうか。

A 危機管理監

大規模な地震・津波が発生したときは、全職員のマンパワーを最大限活用して、体制確保を図ります。

大規模な地震・津波(震度6以上、大津波警報)が発生し発令されたときは、自動的に全職員が防災体制に臨むことになっています。具体的には、各区役所に適切な初動体制を確保するために、事前に近隣地に居住をする課長級以上の職員を複数名定めて、「情報連絡・緊急措置を行う応援管理職員」、「市長・副市長の市庁舎への出勤補佐や対策本部の立ち上げ等を行う職員」、「住所地を勘案して事前に区役所に出勤する職員」等により職員の適正配備に努めております。

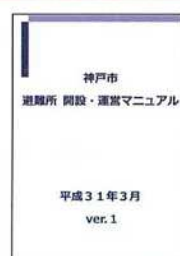
今後、市役所・区役所の体制変更にも適切に対応していくために、現状の応援管理職、直近動員制度、カウンターパート制の体制をより充実・強化し、庁内のマンパワーを最大限活用して、体制確保を図っていきたい。



神戸市避難所開設・運営マニュアル

神戸市では、避難所を開設・運営するための手順、避難所運営の基本的な考え方や避難所運営のあり方、活動内容をまとめた「神戸市避難所開設・運営マニュアル」を作成しています。

各地域において、このマニュアルをベースに、地域の実情に合わせてアレンジし、地域独自のマニュアルを作成していただくようになっています。



避難所運営本部の立ち上げ、役割分担(食料・物資班、保健・救護班等)、避難所のレイアウト、避難所利用のルール等をチャートで掲載。



全国初！市職員と避難者によるマンパワーで避難所開設・運営するマニュアルです。

災害が発生した場合の水は大丈夫？

Q 坊池 正 (水道局) 2019年10月1日

災害が発生した場合、水は非常に重要で早期復旧が望ましいですが、2系統化に向けた取り組みとは。

災害が発生した場合は、水は非常に重要で早期復旧が望ましいですが、水道局は、阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、緊急貯留システムの整備、配水管の耐震化、大容量送水管の整備により、早期復旧に向けた取り組みを行っております。そして、西神地域では、西神低層配水池への2系統化に取り組んでいると聞いておりますが、2系統化を実施する目的とその効果について伺いをいたします。

A 水道局長

送水施設の2系統化は、送水施設が使用不能の場合でも代替ルートにより給水の安定化を図るものです。

送水施設は、浄水場から配水池まで浄水された水を送る施設ですが、送水施設の2系統化とは、非常時の代替ルートや、経年した施設の更新時のバックアップ施設など、送水施設が使用不能となった場合の影響を最小限にとどめ、給水の安定化を図るものです。

具体的な災害等への取り組みは、淀川からの大容量送水管の到達点である兵庫区の奥平野浄水場から西側の西区は、2本の送水トンネルと県営水道神出系の計3つの系統のうち2つの系統からの供給が可能となるよう送水施設の整備を進めております。

その他に垂水区の西垂水第2高層配水池では、伊川谷町や玉津町などが配水区域である西神低層配水池への、災害や事故時の影響を考慮し、送水施設の2系統化を進めているところです。



各家庭で常に家庭内備蓄(7日分)を!

南海トラフ巨大地震は、神戸市のみならず大規模・広域災害であり、救援物資についても、物流不全による全国的な物資不足が見込まれています。各家庭で常に家庭内備蓄をお願いします。

- ・ 最低でも3日分、できれば7日分
- ・ 飲料水は1人1日3リットルが目安
- ・ ローリングストックを活用する

ローリングストック法とは、備蓄している食糧を普段の食事を使いながら、消費した分を買い足す方法です。日頃から食べて、買い足すことで、短い期間で新しいものに入れ替わります。

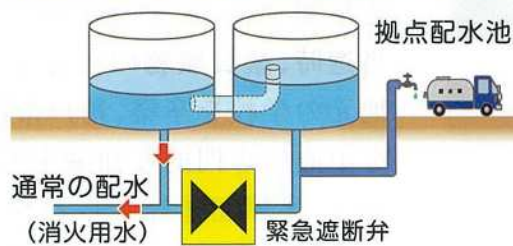


貯水機能のある災害時給水拠点

水道局では、地震などの災害が起きた場合でも飲料水が準備できるように地震が起きたときに配水池や大容量貯水槽の栓を閉める「緊急貯留システム」を2015年に整備が完了し、いざというときに水がなくなってしまうことがないようにしています。

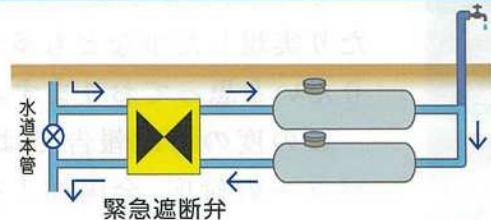
緊急貯留システムによって飲料水をたくわえている配水池や貯水槽は、もし水道が止まってしまった場合でも、「災害時給水拠点」西区内13カ所(配水池・公園)に行けば飲料水を確保することができます。

緊急遮断弁を備えた配水池



通常は配水池で水を貯め、水道管を通じてみなさまに水を届けていますが、災害時に水道管との連絡を緊急的に遮断し、配水池内に飲料水を確保することができます。

大容量貯水槽



公園などの地面の下に埋めている貯水槽は、水道管として利用されていますが、災害時に水道管との連絡を緊急的に遮断し、貯水槽内に飲料水を確保することができます。(写真は工事の様子です。)

災害時給水拠点



災害時給水拠点のシンボルマーク

給水の際はペットボトルやポリ容器などの持参が必要です。



災害が起きたときに給水栓にホース、仮設給水栓等の接続等の組み立てにより水を出すことができます。シンボルマークにより拠点の場所をわかりやすくし、災害時の速やかな応急給水を目指します。

西区の貯水機能のある災害時給水拠点

1	栄特1中区配水池	桜が丘西町5丁目848-692
2	押部谷特1配水池	月が丘6丁目20
3	神出高層配水池	神出町田井1867
4	岩岡中層配水池	岩岡町岩岡612-1
5	学園特1配水池	学園東町4丁目
6	西神南貯水槽	井吹台北町2丁目(井吹思い出広場内)
7	狩場台特1高区配水池	狩場台1丁目
8	竹の台公園貯水槽	竹の台3丁目18
9	持子公園貯水槽	持子1丁目12
10	福谷中層配水池	櫛谷町福谷字城ヶ谷748-1
11	池上中央公園貯水槽	池上2丁目21
12	宮下公園貯水槽	宮下2丁目9
13	見津が丘特1高区配水池	見津が丘6丁目

お問合せご相談は
神戸市会議員

坊池 正

ぼういけ ただし
まで

651-2311 神戸市西区神出町東100
TEL 080-6173-9732 FAX 078-965-0400
E-Mail bouike@nifty.com



私たち、自由民主党神戸市会議員団は、神戸市民の皆様のお声を伺い、
政策の実現に一丸となり取り組んできました。

これからも、私たちは、未来の神戸が素晴らしいものになるように、
"実のある改革"に取り組んで参ります。

子育て支援

出生

妊娠期や出産後の保健師による面談など、子育て家庭に寄り添った伴走型の相談支援実現。
妊娠届出後及び出生届出後に、それぞれ5万円ずつを支給。

出産育児一時金を増額し、出産時の経済的負担も軽減実現。

昨年4月に達成した保育所の待機児童ゼロの維持に向け、保育ニーズに対応した整備を行うとともに、老朽化している民間保育施設の改築等の補助拡充の実現。

食育

コロナ禍における食材高騰により、値上げが必要な小・中学校等の給食費を現行の料金で据置き、子育て世帯への経済的な支援と栄養バランスのとれた学校給食の維持の実現。
温かい給食を中学生全員に提供できるよう、給食センターの整備や中学校配膳室の改修に取り組み、保温食缶を活用した温かい給食を提供を実現。

学童保育

新たに7か所の整備を行うとともに、民設学童施設の利用者負担軽減を図るために助成金を拡充を実現。

学校

小学校の35人学級編制の段階的実施や、「チーム担任制」をモデル的に導入し、児童・生徒の多様な能力の伸長や、健やかな成長につなげ経済的事情を抱える世帯の中学生に対する学習支援を充実するほか、中学校の部活動の地域移行に向けたモデル実施の実現。

負担軽減

子育て世帯における経済的負担を軽減するため、こども医療費助成制度の外来助成の対象を高校生世代まで拡大実現。また、市内高校生などの通学定期券補助や、中学校給食費半額支援、保育所等における多子世帯の保育料減免などについても、引き続き実施。

相談

「こども・若者ケアラー」への相談支援や家事支援を引き続き実施するとともに、子ども食堂や学習支援など、子供の居場所づくりを全小学校区で展開実現。



文化

令和5年度は、「ファッション産業」50周年。都市のブランドイメージの向上に大きく貢献してきました。これまでの取組成果や、今後の展開を見据え、さらなるファッション産業の成長や発展を後押しするPR施策を展開実現。

整備

地下タワー式駐輪場等の導入により、地上平面式駐輪場を地下空間に集約する駅前空間の再整備の実現。



事業者支援

原油価格・物価高騰により、厳しい状況にある市内事業者の事業継続を下支えするため、商店街や小売市場におけるプレミアム付商品券の発行をはじめ、
神戸市プレミアム付電子商品券
必要な支援策を実現。
Ko-Pay

防犯

子供や女性に対する犯罪防止の強化を図るため、防犯カメラを直営で新たに500台設置実現。地域団体に設置した防犯カメラの更新や修繕に係る助成制度を拡充実現。サイバー攻撃に対応するため、病院・交通・水道などセキュリティ対策を実現。

神戸の明るい未来のために
私達は全力で活動してまいります

改革の実績

神戸を前へ!

私たちは感染拡大の防止対策と市民生活の安全・経済の再生に全力で取り組んでいます



自由民主党神戸市会議員団
Liberal Democratic Party of KOBE

TEL.078-322-5846
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
HPアドレス <http://www.jimin-kobe.com/>



活動 だより

令和4年度の
議会活動を中心に
ご報告いたします



東灘区

令和5年1月27日▶
神戸市老人クラブ連合会にて

安井 俊彦 市会議長

tel.078-842-3020 fax.078-841-3090
✉ yasui@yasui.net



最古参議員(12期)として

昨年8月2日神戸市婦人団体協議会と、今年1月27日神戸市老人クラブ連合会でお話したことで、50年前宮崎市長は関西空港が神戸沖に建設されることに反対の表明をしましたが、その1年前に既に神戸議会で反対49、賛成26で反対としていた事案から、神戸市の100年の大成を考えると、いかに議会の決議が重要か、その為には議員は先見性を持ち学習するようお願いしています。

HIGASHINADA KU

灘区

令和5年3月2日▶
予算特別委員会 建設局審査にて

吉田 健吾

tel.078-861-5566 fax.078-861-3456
✉ gogo@yoshidakengo.jp



特色ある公園づくりについて

こどもの運動能力・体力の向上や高齢者の健康増進などを目的として、斜面や小山をつくることで、これまでにない魅力的な公園づくりを目指します。また、ボール遊びが思いっきりできる公園や幼児が安心して遊べる公園など、公園ごとに特色を持たせていきたいです。

NADA KU

北区

令和5年3月23日▶
本会議 一般質問にて

坊 やすなが 幹事・広報

tel.078-983-1711 fax.078-983-1719
✉ yasunaga.bo@gmail.com



地域の安心を確保。農地活用で成長する北区に!

ニュータウンと言われた街も少子高齢化により今やオールドタウン化しています。コミュニティバス施策等を充実させ地域の安心をたかめ、農地の規制緩和により「稼げる農業」へ、5つの高速道路の結節点である地の利を活かし、向かない農地を転用し北区の元気を創造します。

KITA KU

中央区

令和5年2月17日▶
本会議 代表質疑にて

かわなみ 忠和 幹事長

ただ かず
tel.078-806-8633 fax.078-806-8653
✉ contact@55kawanami.com



JR元町駅をバリアフリーに

JR元町駅東口のエレベーター設置を求めたところ、JRは2027年度末までには実施する予定であり、神戸市は、「重点要望駅と位置づけ、鉄道事業者に対し強く働きかけを行う」との答弁がありました。引き続き1日でも早い設置を要望してまいります。

CHUO KU

中央区

平成31年7月2日▶
本会議 一般質問にて

おかむら 正之 副幹事長

tel./fax.078-585-7101
✉ info@okamura-masayuki.jp



神戸市直営の病児保育新設達成!

これからも、神戸市直営の病児保育施設を拡充! 子育て世代が、子育てしやすい街づくりを達成し、神戸市内の人口増加に積極的に議会・行政と共に取り組んでまいります。

CHUO KU

長田区

令和5年2月27日▶
予算特別委員会 都市局審査にて

平井 真千子 幹事・会計

tel./fax.078-643-0647
✉ machiko.h@earth.ocn.ne.jp



長田の住環境を守る政策を前へ!

予算特別委員会にて、都市局審査では新長田の温泉や市保有床の活用について質疑。また建築住宅局審査では今予算案で法改正に伴う支援の拡充や措置の強化が盛り込まれましたが、空家空地の解消に向けて、実効力の高いものとなるよう質しました。

NAGATA KU

西区

令和4年9月15日▶
建設防災委員会にて

坊池 正 市会副議長

tel.078-965-0400
✉ bouike@nifty.com



充実した西区の街づくりのために一直線

地下鉄西神中央駅を核に安全で夢のある暮らしやすい街へ、新旧融合する街づくり、地産地消で農業の強化、新産業団地築造に伴う周辺道路の再整備、緑豊かな市街化調整区域の保全と規制緩和で次代を担う若者の暮らしの確保、安心してできる子育ての街西区をつくります。

NISHI KU

須磨区

令和5年2月17日▶
本会議 代表質疑にて

安達 和彦 団長

tel.078-735-3322 fax.078-735-1268
✉ adachi@jimin-kobe.com



神戸空港国際化を神戸経済再生の起爆剤に

2030年の国際化を踏まえ、2025年からの国際チャーター便確保のために具体的な戦略を持って、工程表を作り進めていくべきであり、新たな誘客施設を進め、神戸が海外からの観光客に旅の目的地として積極的に選ばれるよう取り組むべきと考えます。

SUMA KU

須磨区

令和5年3月2日▶
予算特別委員会 建設局審査にて

むらの 誠一

tel.078-739-8889 fax.078-739-8887
✉ mail@murano.gr.jp



JR須磨海浜公園駅にエスカレーター!

村野委員ご指摘のとおり JR 須磨海浜公園駅は須磨水族園の最寄り駅となっており、市内外の来園者をスムーズに誘導する為にはエスカレーターの設置が望ましいと考えております。隣接地を活用する必要もあると考えており、検討に着手し今後、JRや関係機関と調整を進めて参ります。

SUMA KU

東灘区

うへはた のりひろ

tel.050-3573-1204 fax.078-330-0239
uehata.kobe@gmail.com



令和4年12月6日▶
本会議 一般質問にて

日本国民を最優先する神戸市政を!

今期は 59 億円の外国人生活保護を迫及、子供達の安全の為に学校給食から中国産食材を排除、中国武漢港と神戸港の協定を失効させ、友好国・台湾と連携協定を締結、関西電力の株主たる神戸市として電力安定の為、原発フル活用に取り組み、自衛隊と連携強化を実現しました!

HIGASHINADA KU

東灘区

大野 陽平

tel.078-851-6996 fax.078-854-2300
yoheiohno11@gmail.com



令和5年2月28日▶
予算特別委員会 こども家庭局審査にて

市内117児童館の老朽化対策!

全体の6割が築後40~50年経過し、長く使えるよう毎年6~7館のペースで大規模改修を行っています。環境面の課題を抱えている児童館もあります。こどもにとっては今日明日の問題であり、こどもの目線に立って予算の拡充と更なるスピードアップをはかってまいります!

HIGASHINADA KU

北区

五島 だいすけ

政調会長

tel.078-322-5846 fax.078-322-5548
mail@goto-daisuke.net



令和5年2月17日▶
本会議 代表質疑にて

神戸市事業の市内発注の強化を!

市民の皆さんから集めた税で神戸市が民間に発注する事業を、市内事業者に優先発注する事で雇用増による市内経済を活性化⇒税収増を実現し様々な市民サービスの拡充を。
また、渋滞対策および公共交通アクセス向上を重点的に質疑。

KITA KU

北区

植中 雅子

副政調会長

tel.078-583-8060 fax.078-583-4696
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp



令和5年2月28日▶
予算特別委員会 こども家庭局審査にて

ピークを過ぎた保育需要の提供体制

待機児童ゼロに向けて積極的に協力してきた民間施設が、今後も安定的に運営できる支援を要望し、中山こども家庭局長から、民間保育園における定員の見直しに適切に対応し、公立保育所の受け入れ体制の見直しや統廃合を含めた対策を検討するとの回答を得た。

KITA KU

兵庫区

守屋 隆司

tel.078-512-5722 fax.078-512-5723
t.takashi@outlook.jp



令和4年9月21日▶
本会議 代表質疑にて

国際貢献・ウクライナ避難民支援活動について

ロシアによるウクライナ軍事侵略、遠い国の出来事と傍観するのではなくウクライナ避難民支援を神戸市としても積極的に進めるべきです。支援策は生活支援・市営住宅提供・日本語学習支援・自立支援等多岐にわたる長期にわたる可能性があります。特に市営住宅の入居期限は適時延長すべきであります。お互い様の精神を基本に進めるべきです。

HYOGO KU

兵庫区

平野 達司

tel.078-531-8780 fax.078-531-5301
th.tatsuji.hirano@gmail.com



令和4年12月6日▶
本会議 一般質問にて

子育てしやすい街 神戸・兵庫区へ

訪問型産後ケア電子受付、「子育て広場」ときわんノエスタ兵庫区誘致、兵庫区の子育てサークル活動費用支援、ママフレのリニューアル、内科検診時の上半身脱衣の方針見直し、兵庫運河環境授業の複数校への展開含め子育て教育充実のため取り組み実現しました!

HYOGO KU

西区

山口 由美

tel/fax.078-777-6933
yamaguchi@yumiguma.com



令和2年3月27日▶
本会議 一般質問にて

世界パラ陸上競技選手権大会と共生社会

2024年5月にユニバー記念競技場で、東アジア初となる世界パラ陸上競技選手権大会が開催される。神戸市は1989年のフェスピック神戸大会を契機に、日本において共生社会を牽引してきた都市であり、スポーツを通じた共生社会をより一層進めたい。

NISHI KU

西区

山下 てんせい

tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849
https://www.yamashita-tensei.com



令和5年3月2日▶
予算特別委員会 交通局審査にて

西神山手線沿線の集客策について

リノベーション神戸によって、西神中央駅にもエキソアレーやなでしこ芸術文化センターといった施設が出来ました。これを好機と捉え、交通局に対して各施設とのタイアップやイベント連携、サービスの付与などによって乗客増や来客増へとつなげるよう要請しました。

NISHI KU

垂水区

しらくに 高太郎

副幹事長

tel.078-704-6060 fax.078-709-5252
info@shirakuni.net



令和5年2月27日▶
予算特別委員会 都市局審査にて

垂水駅の今後を検討する場を設けるべき

都市局長答弁(令和5年2月27日要旨)
ご指摘の通り、更なる環境向上のため、回遊性を高める取組など様々な課題に対応していく必要があると考えており、垂水駅の今後や駅周辺のまちづくりについて、JRや山陽電鉄との協議・懇談の場を積極的に設け検討を進めたい。

TARUMI KU

垂水区

岡田 ゆうじ

副政調会長

tel.090-9259-1555 fax.078-330-2335
mail@okadayuji.net



令和4年12月6日▶
本会議 一般質問にて

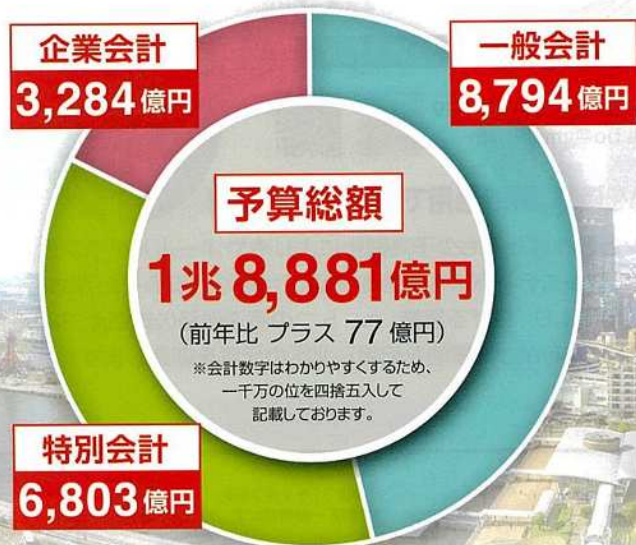
高校生の医療費補助拡充を

岡田ゆうじ「神戸がさらに子育てしやすいまちとして市民に寄り添うため、高校生の外来医療費に対して、補助を拡充して欲しい」(2022年12月6日本会議)⇒2023年10月から、高校生の外来医療費補助スタート。患者負担は最大400円まで(月3回目以降は完全無料)

TARUMI KU

神戸市会にて
令和5年度当初予算を可決しました

新しい時代を創る 積極的な予算編成を提案!!



【一般会計】

コロナ禍における原油価格・物価高騰対策と、感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保に最優先で取り組むとともに、「SDGs(持続可能な開発目標)」に沿った施策の展開により、くらしの質と都市の価値を高め、神戸を「さらなる高み」へ押し上げ、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策を積極的に計上しました。

【特別会計】

神戸空港の国際化を見据え、空港基本施設やサブターミナル等の整備を進めるにあたり、空港整備事業費特別会計を新設しました。

【企業会計】

西神中央ホールの整備に伴う土地購入費の減等により新都市整備事業会計が減少した一方で、空港整備事業費への貸付金の皆増により港湾事業会計が増加しました。

切れ目のない子育て支援

こども医療費助成制度の拡充

53億4,300万円

子育て世帯における経済的負担を軽減するため、外来医療費助成の対象を高校生世代にまで拡大します。(令和5年10月開始予定)



こどもの遊び場拠点の整備

3,300万円

こべっこあそびひろば(西図書館跡・令和5年5月開設予定・市内3カ所目)、おやこふらっとひろば(垂水区文化センター体育室跡・令和5年6月開設予定・全区整備完了)などこどもの遊び場拠点を拡充します。

学校給食における食材費高騰対策

2億7,900万円

コロナ禍における食材高騰により、値上げが必要な小・中学校等の給食費を現行の料金で据え置き、子育て世帯への経済的な支援と栄養バランスのとれた学校給食の維持に取り組みます。

高齢者・障害者施策の充実

コロナによる健康2次被害対策

9,800万円

コロナによる健康2次被害を防止するため、緊急重点対策として市内各所で「転倒リスクチェック」を実施し、転倒リスクがある方を対象に、リハビリ専門職等による3か月間の短期集中プログラムを実施します。

障害者・児への計画相談支援の促進

1億2,700万円

障害福祉サービスの利用者やその家族の負担軽減、適切なサービス提供を行うため、利用計画の作成を担う事業所に対し、人材確保やキャリアアップについての支援制度を拡充します。

シニアキャリア相談

3,500万円

働く意欲のある高齢者の方に、キャリア相談や就労支援などを行います。

地域コミュニティ交通の推進

1億3,400万円

地域交通の維持や交通空白地の課題解決に向けて、地域コミュニティ交通の導入エリアの拡大(10→16地域)や、補助の上限額の拡充(例:市街地(タクシー1台)300万円→350万円)のほか、小規模需要地域に対応したデマンド運行支援制度を創設します。



神戸空港の国際化への対応

空港の機能強化

96億8,600万円

2025年の国際チャーター便運用に向けて、空港基本施設、サブターミナル、駐車場等の整備を進めていきます。

交通アクセスの強化

11億4,200万円

神戸空港の今後の航空需要に対応した交通アクセス強化にむけて、空港連絡橋の4車線化や生田川右岸線の機能強化、新交通三宮駅のホーム拡張などに取り組むとともに、三宮・新神戸駅から空港までの輸送力強化の検討など中長期的な取り組みを進めます。

観光需要・ビジネス需要の創出

16億6,800万円

空港の需要拡大に向けた調査を実施するほか、「登山プロジェクト」や空港島からの海上航路誘客ルートの検討など新たなコンテンツ造成、また、分散型花火・イルミネーションイベントの開催や国際化を見据えたインバウンドプロモーションなどを展開していきます。

おかむら正之

第2回定例会【2022年10月25日】

I LOVE KOBE WE LOVE KOBE BE KOBE

ごあいさつ こんにちは、寒い冬が終わり春風が心地よい頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？3月13日からマスク着用の判断を屋内・屋外を問わず個人に委ねる方針を政府が決定しました。少しずつコロナ禍以前の生活を取り戻しつつあるなか、医療機関や人が密集した場所などまだマスクが効果的な場面もあります。おかむら正之は市民の皆様が安全・安心な生活を送れるよう様々な変化に注視し、議会、行政と共に取り組んでまいります。



▲第2回定例会【2022年10月25日】

瀬戸内海の水質・漁獲対策について

近年瀬戸内海では、海水中の窒素やリンなどの栄養塩類が減少し、神戸市の名物であるいかなごをはじめ、多くの魚種で漁獲量が低迷しています。このままでは貴重な食文化が廃れてしまうと危惧しています。

兵庫県では昨年、栄養塩類が不足している海域への供給を増加させるため「栄養塩類管理計画」を策定しました。漁船漁業に適さないとされている海水中の窒素濃度が1リットル当たり0.2ミリグラム以下の海域において、汚水の処理方法を変更するなどの方法で窒素の供給量を増やします。この計画の対象海域は、播磨灘、須磨・塩屋・垂水沖や淡路島西側のいかなごの漁場である大阪湾西部海域が含まれています。また、豊かで美しい里海という広域的な課題を実現するためには、瀬戸内海全体で連携して取り組んでいく必要があります。兵庫県等関係機関と連携し、大阪湾灘協議会を設立する必要性を引き続き訴えていきます。



■兵庫県「栄養塩類管理計画案」の対象区域

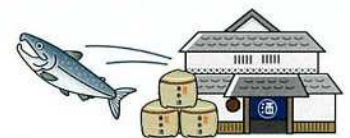


計画案のイメージ

■栄養塩類供給等の様々な取組み



養殖を活用した地場産品の振興について



神戸市では昨年、「神戸らしいファッション文化を振興する条例」が施行され、地場産品の振興に努めています。その取り組みとして、神戸を代表する地場産品「灘五郷」の日本酒の製造過程で生じる「酒かす」などの副産物を、魚の養殖に活用する試みが始まっています。

「酒かす」を魚の養殖に活用することで、脂が乗る、臭みが消えるといった効果が期待できます。東須磨地区で取り組んでいる神戸サーモンの養殖試験においても、順調に生育をし、購入されたお客様にも好評です。

また須磨浦地区では、神戸ワインを餌に混ぜたサーモンの養殖試験にも取り組んでいます。地場産品の副産物の活用は、生産物のブランド価値だけでなく地場産品自体の知名度を高め、新たな販路の開拓、さらにはSDGsの推進にもつながります。養殖にとどまらず様々な取り組みが行われており、新たな発想で生まれた特産品が神戸を代表するものとなることを期待して、スタートアップ事業等との連携もさらに進めてまいります。

CONPAS 神戸らしいファッション文化を振興する条例

市、事業者及び市民が共に、神戸らしいファッション文化を振興、次世代に引き継いでいくことを目的として令和3年6月17日に制定。ファッション産業とは、神戸の歴史、自然及び文化を生かし、地域に根差した地場産業等ファッション性豊かな衣・食・住・遊にわたる生活文化産業全般をいう。

【神戸のファッション産業】 洋服、靴、真珠加工、アパレル、洋菓子、パン、コーヒー、神戸の清酒(灘の酒)など



▲「神戸サーモン」の養殖に取り組む須磨地区



神戸がかわる
都心再整備

都心・三宮再整備と一体的な取り組みについて

神戸市では、持続的発展を遂げるため、まちの魅力向上につながるプロジェクトである「都心・三宮再整備」を着実に進めているところです。

一方、県庁周辺の再整備の進捗は芳しくない状況であり、元町エリアは取り残されてしまっています。元町も三宮の商圈の範囲内であり、再整備の効果を最大限発揮し神戸の成長につなげるためには、三宮・元町両エリアを活性化する必要があります。

また、アウトドアの魅力に加え新たな施設やアートでにぎわいを増す六甲山ですが、山上へのアクセスについては大きな課題があり抜本的な改善が必要です。

真に効果的な都心・三宮再整備をするためには、三宮周辺の整備に限らず様々な事業に一体的に取り組むことが重要であると考えます。



▲第2回定例会【2022年10月25日】

三宮再整備の主な事業



サンキタエリア



三宮クロススクエア



東遊園地再整備



三宮駅周辺歩行者デッキ



ウォーターフロント

元町・県庁周辺の再整備

兵庫県は令和4年3月、元町の活性化を考える上で重要な県庁舎等再整備事業について一旦凍結するという方針を示しました。老朽化が進むJR元町駅とその周辺においては、高架橋の耐震補強工事、東口のエレベーター設置等順次再整備が進められています。神戸市はエリアの回遊性向上のため、JR元町駅東口前のまちなか拠点の整備や、鯉川筋の歩道拡幅、舗装の美装化などを進めました。



▲鯉川筋西側歩道拡幅

六甲山へのアクセス

六甲山においては、土地利用の規制緩和などを進めた結果新たな施設等が開業し、内外からの観光客でにぎわっています。一方アクセス面には大きな課題があり、抜本的な打開策が必要です。市街地からのダイレクトなアクセス手段として、新神戸駅から六甲山上までのロープウエーを整備するといった、大胆な取り組みが必要だと考えます。ロープウエーからは神戸の眺望を堪能でき、非日常の移動手段として新たな観光の目玉になり、都市魅力を大きく向上させ誘客につながります。整備費などの事業採算性、瀬戸内海国立公園における規制など、様々な課題もありますが、六甲山のさらなる活性化に向けて幅広く議論を進めていきます。



市有財産の先進的な活用について

人口減少や少子・高齢化に伴い、市税収入の減収や社会保障関連費の増加が見込まれる中、遊休化した市有財産や未利用地を有効に活用していくことは、自主財源の捻出だけでなく地域活性化の観点からも重要です。

昨年7月、湊山小学校跡地にコミュニティ型の複合施設として「ネイチャースタジオ」がオープンし、家族連れで大変にぎわっております。行政が税金を投入することなく、民間企業が事業主として企画・経営する、全国に先駆けた取り組みとして高く評価されています。市の所有する貴重な資源を余すことなく活用していくため、このような取り組みは積極的に拡大していくべきだと考えます。

遊休化した市有財産は、これまで財源確保を目的として民間事業者への売却などが行われてきましたが、今後は地域の活性化など課題の解決を図る観点から再活用していくことが重要になります。遊休資産が地域、さらには神戸市全体の活性化に貢献できるよう、スピード感を持って対応していきたいと考えています。



▲湊山小学校の跡地にオープンしたネイチャースタジオ。自然とともに暮らし、つながりの可能性を楽しむためのコミュニティ型の複合施設として、ショップやフードホール、水族館、小規模保育園等を備え、多様な人々が集い親しまれています。 画像：ネイチャースタジオHPより



発行：自由民主党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL.078-322-5846





局別審査

ごあいさつ

皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

現在神戸市会では2023年度予算議会が開会中で、久元市長は予算案発表に際し「市民の命と生活を守り、ポストコロナ時代や神戸空港の国際化を見据え、神戸を新たなステージへと発展させていく」と述べました。一般会計は昨年度比で微減の8,794億円、特別会計と企業会計を含む総額は1兆8,881億円となります。

内容は多岐に渡りますが、①コロナに打ち克ち、物価高騰に対応する

②健康・安全を守る ③温もりのある地域社会を創る ④のびやかな

くらしと環境を創る ⑤力強い神戸経済を創る ⑥未来に輝く神戸の街を創る ⑦DXの活用による市民参加を進める という7つの柱に沿って予算の中身が重点化されております。

今号では予算審査における質疑や2023年度予算の一部をご報告させていただきます。こども家庭局審査においては、東灘区の子育て世帯に関わるものも大きく前進させることができました。ひとえに皆さまのお支えのおかげと感謝しております。引き続き愛する東灘と神戸の未来のために全力で取り組んでまいります。今後も変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。



予算特別委員会の映像は、
神戸市会のHPでご覧頂けます。

神戸市会ホームページ

☐ スマホのカメラからQRコードを読み込んで表示
🌐 www.kensakusystem.jp/kobeshikai/



過去に感謝して、未来をつくる。 大野陽平プロフィール



- 1983年 3月11日生まれ・魚座・O型
- 1989年 住吉学園幼稚園卒園
- 1995年 神戸市立渦が森小学校卒業
- 1998年 神戸市立住吉中学校卒業
- 2001年 兵庫県立御影高等学校卒業
- 2005年 関西学院大学商学部卒業
- 2005年 JASDAQ上場企業でヤフーショッピング新規開拓営業に従事
- 2008年 神戸初の体験型ギフト企画販売会社設立・代表取締役就任
- 2019年 神戸市会議員選挙(東灘区)初出馬・7,953票を頂き当選
- 現在 都市交通委員会 副委員長

委員会は都市交通委員会、外郭団体に関する特別委員会に所属しております。ご縁あって茶道裏千家淡交会青年部、関西学院同窓会評議員、東灘区保護司会、東灘区空手道協会にも所属させていただいております。



東灘区制70周年
だんじり巡行



都市交通委員会

神戸市

民間学童保育料、公立と同水準の9,000円へ!



学童保育料は公立では19時まで利用しても月額9,000円ですが、民間では平均13,000円と差が生じています。低学年では様々なサービス込で20,000円近くになる例や、民間学童しかない校区もあり公民格差が課題でした。保護者負担軽減のために、格差是正について私たちの会派から要望した結果、2023年度予算で実現しました。具体的には民間学童が利用料を公立並みの9,000円に下げた場合、市が支給する補助金が増額されます。できるだけ早期にすべての民間学童で利用料が下がるよう働きかけてまいります。(民間学童の独自サービスは別料金。公立と同水準のサービスは月額9,000円が基準)

東灘区

本山南小学校に学童保育開設決定!

地域からご要望いただいていた「本山南小学校内への学童保育の開設」がこの度実現しました。2025年度の開設に向けて、2023年度に設計、2024年度に工事が行われ、本山南小に通う児童のニーズに対応できる規模の施設を整備する予定です。市では原則、学童保育を希望するすべての子どもたちを受け入れる方針を掲げている一方、こどもの多い地区では過密状態の施設や物理的な距離が課題の施設もあり、子どもたちが安全安心に放課後を過ごすよう、可能な限り学校内での確保を第一に取り組んでまいります。



本山南小学校

神戸市

市内117児童館の老朽化対策について



子ども家庭局局別審査

市では長寿命化をはかることを基本に、毎年6~7館のペースで大規模改修を行っていますが、全体の6割が築後40~50年経過し、環境面の課題を抱えている児童館もあります。子どもたちにとっては喫緊の問題であり、子ども家庭局審査において市有財産の有効活用なども含めて質疑を行い、更なるスピードアップを求めました。またハード面だけではなく、プログラムの充実やおもちゃの更新などソフト面も含めて、子どもも保護者も安全安心快適に過ごすことができる環境づくりに取り組んでまいります。

神戸市

地域コミュニティ交通での敬老・福祉パス導入前進!

前回の3月号で取り上げた「敬老・福祉パスの導入」が大きく前進いたしました。3月8日の総括質疑において私たちの会派から「地域コミュニティ交通で敬老・福祉パスを利用できるようにするべき」と質疑を行い、久元市長から「技術的検討と事業者協議を行い早期に実現できるよう取り組む」と答弁がございました。東灘区では西岡本7丁目の皆さまが立ち上がり、今年1月よりヘルマンバスの運行が始まっています。地域のためのコミュニティ交通が継続できるよう引き続き提言を行ってまいります。



ヘルマンバス

神戸市

神戸登山プロジェクト始動!

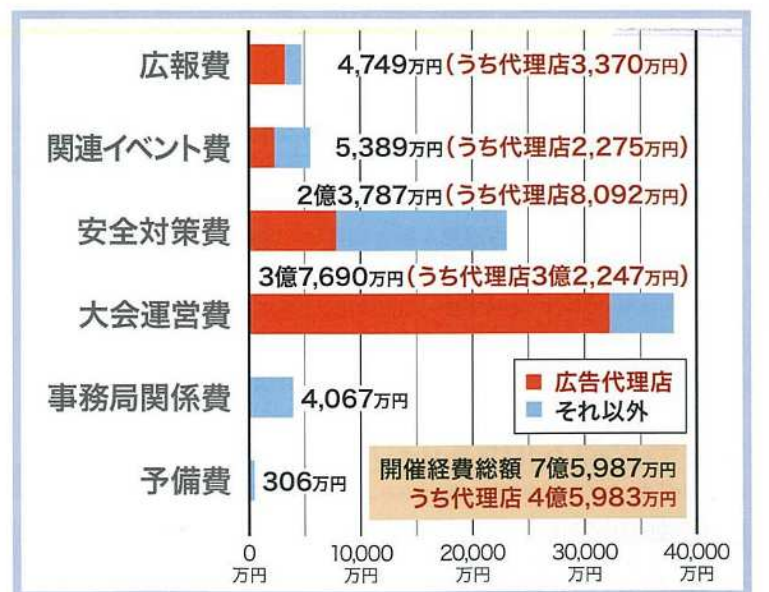


六甲山活性化については本会議質疑や議員として唯一「六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会」に出席するなど注力してまいりました。昨年のスポーツ協会審査では初心者向け登山イベントを提案し、県山岳連盟の協力を得て3月に開催される「六甲山ハイクを楽しもう!」に繋がりました。そして2023年度には「神戸登山プロジェクト」が始まります。主に歩きやすい登山道整備や老朽危険家屋の撤去補助、JR新神戸駅へ登山拠点開設、つくはら湖でのアクティビティが検討されています。神戸の財産である六甲山を、市民や観光客がもっと楽しめるようこれからも尽力してまいります。

神戸市

神戸マラソンには市内経済循環の視点を!

昨年11月に開催された第10回神戸マラソンの開催経費を調査した結果、6割以上の4.6億円が広告代理店1社に支払われていることが判明しました。大規模イベントであり業務は多岐に渡るため、発注者として丸投げする合理性も分かってはいたのですが、実行委員会形式であっても予算には多額の税金が使われています。下請業務に地元企業が参加してはいますが、であればこそ直接発注できるような分離分割など工夫が必要と考えます。神戸マラソンを応援する立場として、市内の経済効果を最大限高め、より多くの方に愛される大会に昇華させます。



2023年度予算 東灘区関連 (一部抜粋・一部2月補正予算含む)

コロナ禍・物価高騰に直面する市民・事業者への支援を強化します!

- 生活困窮者の方への支援として、くらし支援窓口の相談員など13名を増員
- 銭湯の入浴料金値上げ分に対する支援(450円→490円の差額を補助)
- 保護者負担軽減のため学校給食における食材費高騰対策継続
- 事業再構築補助金申請にかかる費用を支援(上限25万円・補助率1/2)
- 商店街、小売市場が実施する商品券発行などへの補助



くらし・健康・安全を守ります!

- コロナによる健康2次被害対策(71歳以上を対象に転倒リスクチェックを実施)
- シニアキャリア相談・就労支援の実施
(SNSを活用したオンライン相談や各区への巡回相談など)
- 防犯カメラの増設・補助拡充。直営防犯カメラは約500台増設
(地域団体への補助制度も拡充【更新は上限8万円→11万円、修繕は上限5万円】)
- 六甲アイランド、ポートアイランドなどで更なる高潮対策を実施
- 管理不全空家などの発生抑制と対策強化
(最大100万円の老朽空家等解体補助制度で年間目標1,000戸)



子育て世帯・子ども・若者への支援を充実させます!

- 子ども医療費助成制度拡充(10月より外来医療費助成を高校生(～18歳)まで拡充)
- 所得制限なし!出産・子育て応援交付金
(妊娠8ヶ月頃の希望者へ新たに面談実施。妊娠届出後5万円、出生届出後5万円支給)
- 発達相談の待機期間短縮に向けてこべっこ発達専門チームの新設
- 流産や死産に伴うグリーフケアの充実
- 公営住宅を活用した児童養護施設退所後の自立支援を実施
- 児童福祉司など11名増員し、子ども家庭センターの体制強化
- 学級担任を固定せず、複数教員がローテーションで担当するチーム担任制実施
(本山南中、雲雀丘中、摩耶小、東須磨小でモデル実施)



市民生活・地域活動への支援を充実させます!

- つながり再生、地域活動担い手発掘・育成のために「地域協働局」新設
- 民生委員の活動支援の充実
(活動にかかる実費弁償額を政令市トップの130,200円/年まで増額)
- 地域活動活性化に向けて地域団体とボランティアのマッチングシステム構築
- 地域課題に取り組むNPOなどへの支援の充実



市内経済活性化・神戸空港国際化に向けた取り組みを強化します!

- 脱炭素をテーマとした開発研究支援、水素関連製品の研究・開発・実証支援拡充
- 新たな課題に挑戦する市内企業と技術を持つ企業とのマッチング
- 大阪・関西万博に向けた関西観光本部と連携した誘客
- クルーズ客船誘致、ナイトタイムエコノミー推進
- 神戸空港国際化に向けて、サブターミナル、空港基本施設、駐車場など整備
- 生田川右岸線の機能強化など交通アクセスの強化
- 空飛ぶクルマの社会実装に向けた実証事業への支援



最後までお読み頂きありがとうございました。

政治家はホワイトキャンパスでもあります。皆様からのご要望などお待ちしております。

子育て、教育、暮らし、地域課題などお気軽にご相談下さい!

大野 陽平

〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町2丁目17-21 615
☎078-851-6996 ☐080-1459-2347
✉yoheiohno11@gmail.com



ごとう 五島 だいすけ通信

2023年
予算号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ



そろそろ桜の季節ですね、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

この市政報告を編集している間に、令和5年度の予算を決める予算議会が開催～議決が終了し予算が決定する見込みです。令和5年度予算は、私が会派の政調会長として昨年からの要望を重ね、重点的に実現させようとしてきた「高校生の通院費補助」「市内発注の強化」「地域コミュニティ交通の推進」など様々な項目について結果が出る見込みです。

今号では、ゴミ行政にメスを入れ、市の収入を増加させる取り組みや、市内発注を強化する事がいかに市の経済活性化につながるか？などをご報告するとともに、令和5年度の予算において五島が議会で質疑・要望した事項がどのように反映されているかをご報告いたします。是非最後までお読みください。

環境行政にメスを入れ、市収入を増加させる 芦屋市など他都市のゴミを受け入れる、売れる資源ゴミをしっかりと売る

ゴミは資源と言われる時代です、その取扱い次第でコストがかかる迷惑なモノにも神戸市の大事な収入源にもなります。五島は、このゴミに目を付け、神戸市の収入を増加させるため、様々な提言を行ってまいりました。そろそろ色々な成果をご報告できる状態になってきました。

神戸市のゴミは、燃やすごみ、燃えないごみ、缶・ビン・ペットボトル、容器包装プラスチックに分別されています。他に資源集団回収で、新聞・段ボール・ぼろが回収されています。

この中で、燃やすごみについて、神戸市の持つ焼却炉とその処理能力、周辺自治体のごみ処理の状況を調査しました。五島は、広域連携を行い周辺自治体の燃やすごみを受け入れる事で、周辺自治体の焼却炉建設コストを下げ、わが神戸市でごみ焼却受託収入および売電収入を獲得すべきであると考え、議会で質疑を行っております。

また、売れるはずの資源ごみを無償で譲渡してしまっている事について怒り、わが市で利用できないのであれば、市場価格で売却すべきであると議会で活動し、ペットボトル売却収入が以前はゼロでしたが今年度は上半期2億円の増収、下半期も2億円の増収になる見込みであり、今後も継続的に市の収入は増加する見込みです。



ゴミは資源！
今年度、ペットボトルの売却収入が大幅増加！

	東クリーンセンター	西クリーンセンター	港島クリーンセンター
稼働	平成12年	平成7年	平成29年
焼却能力	900t 300t×3炉 24h	600t 200t×3炉 24h	600t 200t×3炉 24h
焼却実績/能力(年間)	18.6万t /32.8万t	12.7万t /21.9万t	14.1万t /21.9万t
売電収入	4.6億円	2.9億円	11.3億円
建設費	420億円	320億円	230億円

神戸市の3クリーンセンター概要

	令和3年		令和5年
	年間処分量	売却額 (▲は処分費)	売却収入見込み
ペットボトル	5,500t	2100万円	2億円 大幅収入増へ!!
容器包装 プラスチック	8,200t	▲3億3,000万円	状況変わらず
缶	3,800t	6億1,800万円	状況変わらず

収集されたゴミのゆくえ

質疑の要旨は以下の通りです。

令和4年3月本会議にて

五島 廃棄物は、売却可能な価値で資源でもあるが、無償で事業者に引き渡される場合が多く、リサイクル協会に負担金を多額に支払っている。有償の売却を前提に、市に利益が還元されるよう、現状を把握し直すべきではないのか。

副市長 ご指摘の有償の売却を条件に、来年度よりPETボトルリサイクルを行える事業者を公募し売却をしていきたい。

五島 これまで出来ていなかった取り組みであるため評価するが、売価はキロあたり16円と聞いており、市場価格である80円とは大きく乖離している。ここはもっと突き詰め、高く売れるものは高く売って欲しい。



令和4年3月本会議

令和4年3月同本会議にて

五島 本市には、東・港島・西の3か所のクリーンセンターで焼却処理を行っていますが、処理容量はかなりの余裕がある。周辺市の処理を受け入れ、本市の処分料としての歳入を増やし、発電効率の向上を図るべき。

副市長 既に広域化を検討した他都市の事例を研究するなど、課題の整理に努めたい。

令和5年2月本会議にて

五島 ゴミ焼却場整備に関して、西宮市と芦屋市が広域化の議論を重ねたが、令和3年2月に広域化を断念した。本市の余力を活用し、芦屋市のごみ処理を受け入れられれば、本市の処分料としての歳入が増え、芦屋市にとっても施設建設費やランニングコスト削減になり、双方にメリットがある。積極的に働きかけるべきだ。

副市長 廃棄物処理施設の広域化や集約化は、建設費などの削減や地球温暖化の観点からも推進すべきものとされている。広域化については県とも連携を強化していきたい。



令和5年3月予算特別委員会

ペットボトル処分方法変更により年間2億円の市収入増加を実現。

他都市のゴミ焼却受託により更なる市収入増加を目指すとともに、環境関連事業のスタートアップにも力を入れるべく取り組みます。



重点予算要望項目 五島だいすけが本会議・委員会・予算要望など

本年五島は自由民主党神戸市議員団の政調会長として市政に取り組ませて頂いており、会派内メンバーの質疑事項の調整や予算決算における要望事項の整理、市長に対する予算要望事項の編集などを行っています。これまで議員個人として尽力してきた部分もありますが、最大会派としての力も活かし、様々な項目がこの予算で実現できました。

今後より一層、市民のみなさまの課題を解決し、市の将来が明るくなるような政策を実現して参りたいと思います。

これまで実現できた予算や拡充できた予算をかいつまんでご紹介します。

こども医療費助成を高校生まで拡大

実現
します

これまで医療費の助成（受診1回あたり400円負担）は中学生まででした。こどもが大きくなるほど親の負担も大きくなるため、高校生の子を持つ親への家計応援は重要項目として会派として要望、本年10月からの医療費助成が開始されます。みなさまのご家庭に申請書をお送りしますので、お申込みください。



神戸市のこども医療費助成

	2歳まで	中学生まで	高校生
入院	無料	無料	無料
外来	無料	1回400円負担 (月3回目以降無料)	(これまで)補助なし ⇒1回400円負担で済むように!

全て所得制限なし

毎年要望してきた事項をようやく実現させる事ができました。他会派から異なる要望がある中、我々からは個人負担分が上がっても（400円負担を500円に）高校生まで拡大するべきだと要望。仮に高校生まで全て無償化した場合は年間約25億円の予算が必要ですが、これは市民一人当たり1,666円の負担です。無償にする代わりに子供たちの教育・スポーツなどを通じ体験を豊かにするインフラや制度作りを行い、他都市と差別化するよう要望しています。

おいしい中学校給食の実現

前進
しました

2015年中学校給食において異物混入が相次いだ事件の際から、**現行のランチボックス形式での実施が問題の原因**であると指摘、温かさを確保する事・量の調節を可能にする事・給食提供までの衛生面確保などのために、センター方式採用を議会でも要求して参りました。

当初の設備投資が一巡したいま、**センター方式への転換が具現化**、今年から垂水区および西区において市営給食センターの建設が開始され、**今後は民間事業者と協力し、2026年中には市内全中学校においておいしい中学校給食のためのセンター方式化が完了**します。

高校生の通学費補助継続

継続

高校生の子を持つ親への家計応援という意味で、過去**2018年**に北神急行の高校生通学費割引を実現、その後北神急行が市営化された事から、**2022年9月**より全市の高校生通学費補助へと発展させ、**2023年度**も予算を獲得し、**制度を継続**します。

通学費補助のイメージ

月額12000円
(年間144,000円)

月額12000円を超えた額の半額を補助

半額



妊婦タクシー制度継続

継続

コロナ禍で心理的負担が大きい妊婦さんへの支援を!と要望し、始めた妊婦タクシー制度。次年度予算においても妊婦さんの応援という事で、母子手帳交付にあわせ5,000円分のタクシーチケット配布を継続します。

中学校の体育館学校開放を全校へ拡大

拡大

こどもも大人も運動する場が足りない事、室内競技のために遠く他都市まで行かねばならない現状がある事、市民の財産でもある学校施設の使用率が低い事などを訴え、学校が市民のために開放できないなら教育委員会ではなく市長部局で管理せよ!と迫り一昨年から小学校の体育館開放の制限が撤廃され、**昨年**から中学校体育館を「リモートロック」というシステムを用いる事で予約~開放が出来るようになりました。令和4年度目標は全市で50校程度の開放でしたが、令和5年度からは全校体育館を開放する事を予定しています。



開放の報告に喜んでくださる、バスケットボールチーム ホープスの皆さん

未来の空飛ぶ車社会実験等のためのヘリポート整備

実現
します

この春から希望団体に配布が始まる予定となっております。万博で注目される**空飛ぶ車**に向けた一歩です!五島は2022年未来都市特別委員会の委員長時に、将来の空飛ぶ車実装のときを見越し、空飛ぶ車に対応するインフラ造り、具体的には**都心部で発着できる設備の整備、観光地など目的地における発着場整備**を行う事や、空飛ぶ車実装に向けた社会実験のための空の道整備などを提言してまいりました。

この令和5年度予算において、**まずはヘリポート**という形で市内に2か所の整備を行う事が決定、今後の空飛ぶ車実装に向けた実験場としても機能させてゆきます。

で2023年度の予算として実現した項目をご報告いたします!

西鈴蘭台駅および神鉄道場駅の自転車置き場を無料化

実現
します

市内における無料と有料の駐輪場が、ルールなく偏在している事を過去に指摘しました。

例えば施設が充実しているのに無料の岡場駅自転車置き場に対して、屋根もなく雨ざらしの他駅の駐輪場が有料であり、どのようなルールがあって有料無料を分けているのか? という話です。この質疑により、無料化してもキャパシティがオーバーフローしてしまわない場合は無料化していく事が決定。

今回は西鈴蘭台駅駐輪場がまずは無償化され、今後神鉄道場駅の駐輪場がエレベーター改修後の令和6年より無償化される事が決まりました。



地域コミュニティ交通の推進 ～敬老福祉パス適用

実現
します

交通空白地の課題解決、免許返納への対応など、地元での足の確保のため、地域コミュニティ交通の拡大が必要です。市内で10エリアある適用地域を16エリアへ拡大します。

また、運営補助上限額の拡充も予算化、そして敬老パス福祉パスをコミュニティ交通へ導入する方針が決定しました。



地域猫活動への支援

実現
します

地域猫活動とは猫の殺処分ゼロを目指し、「野良猫を捕獲する～避妊去勢を行う～地域に返す～エサやりや糞の始末などをする」事で繁殖を抑えつつ殺処分を無くす政策(条例化)です。

ですが、まだまだ地域猫活動は市民に浸透しているとは言えず、猫活動の中でのエサやりに対して、「エサをやるから猫が増える!」などと、誤解を受ける事も多いのが現状です。

今後は地域猫活動の周知や、活動する猫活動のボランティアさんたちへの応援などが更に必要であると考え、神戸市で統一したユニフォームなどを創る事で地域猫活動の啓蒙を行うための予算を実現しました。



地域猫活動
ユニフォームデザイン



北区の道路はこう変わる

北区はアクセスさえ良ければ住環境は最高です!
公共交通を含め道路網の整備を主な仕事と考え努力しています。



皆森～谷上の東側区間につづき、ついに西側区間も着工します!
令和5年春頃から工事に着手、スムーズにいけば令和5年12月までに完成予定! 皆森交差点東向きの左折専用レーンが直進+左折へ変更され、以東が2車線に拡幅、渋滞解消を大幅に前進!



五社北交差点の改良につづき、岡場大橋の追加設置と近隣道路の拡幅が始まります! 物流車両増に備え、有野周辺の皆様の渋滞損失防止へ!



2017年台風21号で長期通行止めになった区間、トンネル化で抜本的改善に動き出しました! 青葉台の皆様が箕谷ランプのバス停へ出る歩道が狭い点への対応なども総合的に予算要望!

市内経済発展のため神戸市発注事業を 市内事業者へ優先発注せよ

なぜ、神戸市の事業を市内に発注する事が 大事なのか？

神戸市が皆さんから預かった税金は、様々な事業に使われています。
税は公務員の給与や、医療費などの扶助費に使われる義務的経費のほか、様々な事業スタッフやITシステム製作などを民間に委託し、道路や建物などのインフラ建設も行います。
これらの事業を市内の事業者に出すか、市外に出してしまうかでは雇用や税収など中長期的に見て大きな差が出てくるのです。安ければOK!とか、発注が面倒だから大手に丸投げ! などでは市外に大事な税収や雇用がどんどん逃げてしまいます。「金は天下の回りもの」と言いますが、出来るだけ市内で回し、市内の雇用と税収を上げていく地道な努力こそが市内経済発展の基礎となるものです。
以前から指摘している事項ですが、例えば北神区役所の窓口業務を東京本社の派遣会社に委託しており、この委託費は、一人当たり金額は正規の公務員より安い額ですが、

時給 1,200 円程度で募集されていると聞きます。

東京本社の企業に委託? どれ程の利ザヤを稼いでいる? なぜ市内に委託しない? または直接雇用をしないのか? 普通に考えて色々改めるべきです。



令和5年2月本会議での質疑内容

五島 市内経済の循環を促し、神戸経済をさらに発展させるためには、スタートアップ支援だけでなく、既存の市内事業者の育成が重要。(市発注事業について)市内事業者の受注促進については、我が会派から重点予算要望でもある。

委託契約における市内事業者への優先発注について、令和3年規定を改定した事は評価している。今後も、市内事業者が受注しやすくなるよう、さらなる取組が必要。令和5年度は具体的にどのような取組を進めるのか。

副市長 令和5年度取組として、工事業委託について、1つには下請業者に地元企業を

活用する場合に、評価項目として加点することを考えている。2つ目に契約相手側に下請施工を必要とする場合には、可能な限り地元企業に発注するマニュアルとする事を考えている。今後とも地元発注の取組を強化してまいりたい。

五島 規定の整備は評価するが、契約額をまとめてドンと一括発注されると市外のメーカーに仕事を持っていかれるので、同じ種類の仕事でも分割して出す事が重要。

これは、市長局長はじめ事務方の皆さんが市内経済をどれだけ大事に思うかという、マインドだ、日々考えて頂けるよう強く要望する。

また、これは一般会計特別会計だけでなく、外郭団体の発注でも同じ事をやっていただくよう要望する。

済生会兵庫病院と三田市民病院の統合における課題について

- 統合により、医療が充実される事
- 新病院へのアクセスが確保される事
- 周辺都市と連携しこども急病センターを設置する事 などを中心に質疑

五島 済生会兵庫病院と三田市民病院の再編・統合について、北神地域の住民への医療充実はどのようになされるか?

健康局長 新病院については400~450床規模と大きくなる予定で、いまの規模でそれぞれがやっているよりも、診療科が充実し症例数が増える。このため、医師の充実が図られる事になる。今のままでは新たな医師を確保しにくい状態であるため、医師の確保という点で大きく充実が図られる。



令和5年3月予算特別委員会

また、現状例えばコロナ禍対応のICUが無いが、統合によりそのような機能も付加できる。現状、北神で完結できずわざわざポートアイランドの中央市民病院まで行かなければならない事が減る。

五島 交通アクセスを心配される方も多い、新病院の整備においては患者さんやスタッフの足の確保をしっかりとお願いする。

健康局長 三田市で令和6年に交通

計画が作られるが、そこにあわせてきっちりやっていく。

五島 藤原台や北神星和台、鹿の子台、そして三田の人たちが縦で移動できるようなラインというのを新しく考えるのがいいと思われる、また、済生会病院がそもそも走らせている送迎バスやコミュニティ交通とも連携させ、地域の足の機能向上にもなるよう都市局とも連携してやるよう要望する。

今、北神地域の子供の急病時には、トンネルを越えてHAT神戸にある神戸こども初期急病センターまで受診しに行く。三田の子供急病センターも日曜日の昼間しかやっていない、西宮の北部についても同じだ。北神の医療は北神で完結させるため、小児救急センターを整備すべきだ。

健康局長 箕谷に急病センターを設置した際に作ろうとしたが、小児科医の確保が難しいという問題があった。北神でも同じ問題に直面すると思われる。

五島 小児科医不足は自民党の問題でもあるため、医療制度から国に改革を要望していく。だが、地形を見るに、新病院は北神・三田・西宮の圏域を担うものになるため、そのエリアの意思に協力を仰ぐべきだ。三田西宮の住民にとってもいい事であるから、連携するべきだ。三田や北神からHAT神戸まで行けというのは熱を出した子どもには酷だ。

健康局長 その通りだ、両市に状況と意向を確認して、可能性があるかどうかをまず確認し、可能性を探りたいと思う。

五島 先の話になるが、統合後の現在の済生会だが、介護であったりとか緩和ケアなど地域に根差した医療等の機能を残すようお願いしておく。
(令和5年2月特別委員会にて)



他にも、神戸電鉄粟生線の上下分離または専用BRT路線化により赤字を除去し、神鉄全体の運賃低減に努めるべきである事

海上コンテナシャーシ不足問題の解決に全市で取り組む事

物流の2024年問題に対応するべく、コンテナヤード渋滞解決など様々な課題に取り組む事
海釣りが出る環境づくりのため、釣り客や渡船事業者、釣り道具事業者などと協議をする事などを今議会において質疑しております

